

科目名	社会福祉援助技術現場実習		
担当教員名	伊藤 わらび、大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

1. 現場体験を通して社会福祉専門職として仕事をするうえで必要な「専門知識」「専門援助技術」「関連知識」の理解を深めるとともに、実際に活用し、体得する。
2. 職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。
3. 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し倫理として体系する能力を身に付ける。
4. 関連分野の専門職との連携のあり方および内容を理解する。

## 内容

配属に際しては健康診断などにより良好な健康状態であることを確認する。

実習先は巡回指導が随時可能な範囲で行う。

実習ノートは単なる記録とならないように、あらかじめ学生に指導し、その内容については事後の個別指導に十分生かすようにする。

事前指導にあたっては、1) 実習中は関係者との良好な人間関係を築く 2) 利用者および家族、当該実習施設およびコミュニティを良く理解し、社会福祉援助の能力を強める 3) 社会福祉専門職としての職業倫理を深く理解するとともに、職業人としての責任をはたす能力を強めるように指導する。また事後指導においては福祉専門職として自己を客観視し解決すべき課題を明確にし、理解を深めるように指導する。

## 評価

実習態度や実習先の評価を含んで総合的に評価する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】社会福祉実習研究会編「社会福祉実習サブノート」中央法規

科目名	社会福祉援助技術現場実習		
担当教員名	伊藤 わらび、大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

- 1.現場体験を通して社会福祉専門職として仕事をするうえで必要な「専門知識」「専門援助技術」「関連知識」の理解を深めるとともに、実際に活用し、体得する。
- 2.職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。
- 3.具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し倫理として体系する能力を身に付ける。
- 4.関連分野の専門職との連携のあり方および内容を理解する。

#### 内容

配属に際しては健康診断などにより良好な健康状態であることを確認する。

実習先は巡回指導が随時可能な範囲で行う。

実習ノートは単なる記録とならないように、あらかじめ学生に指導し、その内容については事後の個別指導に十分生かすようにする。

事前指導にあたっては、1) 実習中は関係者との良好な人間関係を築く 2) 利用者および家族、当該実習施設およびコミュニティを良く理解し、社会福祉援助の能力を強める 3) 社会福祉専門職としての職業倫理を深く理解するとともに、職業人としての責任をはたす能力を強めるように指導する。また事後指導においては福祉専門職として自己を客観視し解決すべき課題を明確にし、理解を深めるように指導する。

#### 評価

実習態度や実習先の評価を含んで総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】社会福祉研究会編「社会福祉実習サブノート」中央法規

科目名	社会福祉援助技術現場実習		
担当教員名	伊藤 わらび、大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	社会福祉士受験資格		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 現場体験を通して社会福祉専門職としての仕事をするうえで、必要な「専門知識」「専門援助技術」「関連知識」の理解を深めるとともに、実際に活用し体得する。
2. 職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。
3. 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し倫理として体系する能力を身につける。
4. 関連分野の専門職との連携のあり方、および内容を理解する。

#### 内容

配属に際しては健康診断などにより良好な健康状態であることを確認する。

実習先は巡回指導が随時可能な範囲で行うが、実習 が施設中心の実習だったのに対し、今回は施設だけでなく、児童相談所、福祉事務所などの機関、および社会福祉協議会も含めるなど実習先を拡大し広く学べるようにする。

また2回目の実習ということもあり、実習内容をさらに深めたものにするるとともに、大学で学んだ知識と現場実習での経験の相互のフィードバックをはかり、倫理と実践の統合をはかることを目的とする。

#### 評価

実習態度や実習先の評価を含んで総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	社会福祉援助技術現場実習指導		
担当教員名	伊藤 わらび、大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

- 1.社会福祉援助技術現場実習の意義について理解させる。
- 2.社会福祉援助技術現場実習を通じて、大学で学んだ知識、技術等を具体的かつ实际的に理解できるようにする。
- 3.実践的な技術等を体得できるように指導する。
- 4.福祉に関する相談援助の専門職としての自覚をうながし、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的対応能力を習得できるように指導する。

#### 内容

- 1.実習オリエンテーションにより、実習概要、意義を理解するとともに、実習への動機や意思を明確にする。
- 2.視聴覚学習や従事者の講義を含め、実習先、対象者、専門職の倫理について事前に学習する。
- 3.実習中は巡回指導を行う。
- 4.実習後は事後指導とともに実習の評価全体総括会により実習での学びを深め、確実に自分のものとする。

#### 評価

評価について全体指導での評価は課題の提出と出席状況を含めて50点、各担当教員によって行われるグループ別指導で50点とする。グループ別指導の評価の詳細は担当教員によって異なる可能性がある。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】『社会福祉実習サブノート』 中央法規

科目名	<b>社会福祉基礎実習</b>		
担当教員名	大山 博幸、伊藤 わらび、片居木 英人、栗原 直樹 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

これから社会福祉を学ぶ学生が社会福祉の実践現場を学ぶうえでの、基本姿勢、基礎的態度を形成することをねらいとする。そのような意味で、本授業は社会福祉実習教育における入門的な位置づけである。

また、本授業以降実施される各コースの配属実習の基礎科目としての位置づけももつ。後日、現場実習を予定する学生は、この授業を通して自分の実習時のイメージを形成していくことが求められる。

#### 内容

1. 社会福祉の実践現場を学ぶ上での基本姿勢の形成：最低限の社会的スキル（あいさつ、マナー、身だしなみ）、現場参入のための手続き（現場の状況に合った服装や振る舞い、自己のリスク管理など）
2. 社会福祉を学ぶモチベーションの形成・促進、学習集団としてのパフォーマンスの向上（グループ学習スキル、プレゼンテーションなど）
3. 利用者とのコミュニケーションにおける基本技術
4. 主に障害者福祉、児童福祉、老人福祉など社会福祉の主要な各領域の代表的な「現場」についての学習
5. 施設での見学・体験実習
6. 見学実習体験の明確な記述
7. 将来の実習イメージの形成、明確化

#### 評価

出席40点、授業中指示するレポート課題60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に配布する「基礎実習 要項」等を使用する。

科目名	介護実習		
担当教員名	新井 幸恵、中村 幸子、野島 靖子、丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 実習 1 - 1

- ・介護福祉にかかわる在宅生活支援事業の概況を理解する。
- ・利用者の在宅生活を維持し、その人らしい暮らしを実現してゆくために、地域での介護実践の役割 と課題を学ぶ。
- ・行政・インフォーマルな組織・家族・地域社会・他職種の利用者を取り巻く支援の諸相を学ぶ。

#### 実習 1 - 2

- ・特養・老健・障害者施設などの入所施設にて、基礎的な介護技術を学ぶ。
- ・実習 1 - 1 との関連で、施設入居者と家族や地域社会とのかかわりが、どのように継続的に図られているのかを学ぶ。

#### 実習 1 - 3

- ・在宅実習を通じて 1 - 1、1 - 2 との関連で、利用者の暮らしやその想いの理解を深める。
- ・在宅支援における介護技術の在り方を学ぶ。

#### 内容

在宅・施設実習による

#### 評価

実習態度・記録・提出物評価 5 0 %

施設評価 5 0 % による

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

吉田節子他編「ワークで学ぶ介護実習」みらい

森永伊紀「介護を始めたあなたに」萌文社

佐藤豊道「介護福祉のための記録 1 5 講」中央法規

随時授業の中で紹介します

科目名	社会福祉概論		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

- ・現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。
- ・福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。
- ・福祉政策におけるニーズと資源について理解する。
- ・福祉政策の課題について理解する。

#### 内容

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

#### 取組

- 1 福祉制度の概念と理念
- 2 福祉制度の概念と理念
- 3 福祉制度と福祉政策の関係
- 4 福祉政策と政治の関係
- 5 福祉政策の主体と対象
- 6 福祉の原理をめぐる理論・哲学・倫理
- 7 前近代社会と福祉 ( 救貧法、慈善事業、博愛事業、相互扶助、その他 )
- 8 近代社会と福祉 ( 第二次大戦後の窮乏社会と福祉、経済成長と福祉、その他 )
- 9 現代社会と福祉 ( 新自由主義、ポスト産業社会、グローバル化、リスク社会、福祉多元主義、その他 )
- 10 需要とニーズの概念 ( 需要の定義、ニーズの定義、その他 )
- 11 資源の定義 ( 資源の定義、その他 )
- 12 福祉政策と社会問題 ( 貧困、孤独、失業、要援護〔児童・高齢・障害・寡婦〕、偏見と差別、社会的排除、ヴァルネラビリティ、リスク、その他 )
- 13 社会政策の現代的課題 ( 社会的包摂、社会連帯、セーフティネット、その他 )
- 14 福祉政策の課題と国際比較 ( 国際動向を含む )
- 15 授業の総まとめ ( ペーパー試験を含む )

#### 評価

出席40点及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

[使用テキスト] ( 使用予定 )

- ・塩野敬祐・福田幸夫編『現代社会と福祉 - 社会福祉 福祉政策』弘文堂
- ・『福祉小六法 2009』みらい社

科目名	社会福祉概論		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

- ・福祉政策の構成要素 (福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む) の関係について理解 する。
- ・福祉政策と関連政策 (教育政策、住宅政策、労働政策を含む) の関係について理解する。
- ・相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。

#### 内容

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

#### コマ数

- 1 福祉政策の論点 (効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、自己選択と パターナリズム、参加とエンパワーメント、ジェンダー、福祉政策の視座等)
- 2 福祉政策の論点 (前回からの引き続き)
- 3 福祉政策における政府の役割
- 4 福祉政策における市場の役割
- 5 福祉政策における国民の役割
- 6 福祉政策の手法と政策決定過程と政策評価
- 7 福祉供給部門 (政府部門、民間〔営利・非営利〕部門、ボランティア部門、インフォーマル部門 等)
- 8 福祉供給部門 (前回からの引き続き)
- 9 福祉供給過程 (公私関係、再配分、割当、行財政、計画、その他)
- 10 福祉利用過程 (スティグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップ等)
- 11 福祉政策と教育政策
- 12 福祉政策と住宅政策
- 13 福祉政策と労働政策
- 14 福祉供給の政策過程と実施過程
- 15 授業の総まとめ (ペーパー試験を含む)

#### 評価

出席40点及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

[使用テキスト] (使用予定)

- ・塩野敬祐・福田幸夫編 『現代社会と福祉 - 社会福祉 福祉政策』 弘文堂
- ・『福祉小六法 2009』 みらい社



科目名	障害者福祉論		
担当教員名	丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.現代社会における障害の概念と障害者の実態を理解させるとともに、障害者福祉の社会的背景について理解させる。
- 2.現代社会における障害者福祉の理念と意義について理解させる。
- 3.障害者の福祉需要の把握方法について理解させる。
- 4.障害者福祉に関する法とサービスの体系について理解させる。

#### 内容

- 1.現代社会と障害及び障害者
  - 1) 障害の概念
  - 2) 家族と障害者
  - 3) 社会と障害者
- 2.現代社会と障害者福祉
  - 1) 障害者福祉理念の発達 リハビリテーション ノーマライゼーション
  - 2) 概念と範囲
  - 3) 役割と意義
- 3.障害者の福祉需要の把握方法とその具体的内容
  - 1) 把握方法
  - 2) 具体的内容
- 4.障害者福祉に関する法の目的、対象及びサービスの体系とその具体的内容
  - 1) 障害者基本法とリハビリテーション体系
  - 2) 障害別福祉サービスの体系と内容
    - 障害児
    - 身体障害者
    - 知的障害者
    - 精神障害者
  - 3) 関連法による施策
    - 保健・医療
    - 教育
    - 雇用・就労
    - 年金、手当及び経済的負担の軽減
    - 住宅・生活環境(バリアフリーへの対応)

#### 評価

- 試験による評価(中間 15点、中間 15点、前期試験60点)  
出席・平常評価(10点)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】相澤穰治他編 『障害者福祉論』 みらい  
【推薦書】ニイリエ 『再考・ノーマライゼーションの原理』 現代書館  
デビッド・ジョンストン 『障害学入門』 明石書店

科目名	障害者福祉論		
担当教員名	丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.民間活動及び民間サービスの意味とその現状について理解させる。
- 2.障害者福祉及び関連分野の専門職及びその連携のあり方について理解させる。
- 3.障害者に対する相談援助活動について理解させる。

## 内容

- 1.民間活動及び民間サービスの役割と意義及びその現状
  - 民間活動
  - 民間サービス
  - 当事者組織・家族会
  - セルフヘルプグループ
- 2.障害者福祉及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方
  - 組織・専門職
  - 連携のあり方
- 3.障害者に対する相談援助活動
  - 相談援助活動をすすめるうえでの留意点
  - 具体的事例
  - 事例研究

## 評価

試験による評価(中間 15点、中間 15点、後期試験60点)

出席・平常評価(10点)

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】相澤譲治他編 『障害者福祉論』 みらい

【推薦書】上野千鶴子他 『ニーズ中心の福祉社会へ』 医学書院

岡田稔久他 『親』 Sプランニング

岩元綾 『21番目のやさしさに』 かもがわ出版

科目名	老人福祉論		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1. 老人の精神的・身体的特徴や障害について理解させるとともに、老人の社会的背景について理解させる。
2. 現代社会における老人福祉の理念と意義について理解させる。
3. 老人の福祉需要の把握方法について理解させる。
4. 老人福祉の歴史について理解させる。

#### 内容

1. 高齢社会と老人
  - 1) 老化と老人
  - 2) 家族と老人
  - 3) 社会と老人
2. 現代社会と老人福祉
  - 1) 老人福祉理念の発達
  - 2) 概念と範囲
  - 3) 役割と意義
3. 老人の福祉需要の把握方法とその具体的内容
  - 1) 把握方法
  - 2) 具体的内容
4. 老人福祉の歴史について

#### 評価

出席、レポートで30点、試験で70点とする。欠席が多い場合(3回以上)は出席点を差し引く。  
3分の2以上の出席をもって試験受験可、試験、レポート、出席点の合計で評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】改訂『新選 一部改訂 高齢者福祉論』みらい

【参考図書】『老人福祉のてびき』平成20年版 長寿社会開発センター

科目名	老人福祉論		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 老人福祉に関する法とサービスの体系について理解させる。
2. 民間シルバーサービスの社会的意義とその現状について理解させる。
3. 老人福祉および関連分野の専門職およびその連携のあり方について理解させる。
4. 老人のための地域および住環境の整備と福祉用具について理解させる。
5. 老人に対する相談援助活動について理解させる。

#### 内容

1. 老人福祉に関する法の目的、対象、サービス・給付の体系とその具体的内容
  - 1) 老人福祉法
  - 2) 介護保険法
  - 3) 老人保健法およびその他の関連法規
2. 老人に対する保健・医療・福祉サービスの現状
  - 1) 在宅サービス
  - 2) 施設サービス
3. 民間シルバーサービスの役割と意義およびその現状
4. 老人福祉および関連分野の組織・専門職およびその連携のあり方
5. 老人のための地域および住環境の整備と福祉用具
6. 老人に対するする相談援助活動

#### 評価

出席、レポートで30点、試験で70点とする。欠席が多い場合(3回以上)は出席点を差し引く。  
3分の1以上の出席をもって試験受験可とし、試験とレポート、出席を合計し評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】改訂『新選 一部改訂 高齢者福祉論』みらい

【参考図書】『老人福祉のてびき』平成20年版 長寿社会開発センター

科目名	養護原理		
担当教員名	青木 孝志		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.社会的養護が必要とある養護問題の現状や背景を理解する。
- 2.社会的養護の体系や児童福祉施設の役割を理解する。
- 3.児童福祉施設における養護の実際を理解する
- 4.児童養護を担う職員の役割や援助について理解する。
- 5.児童観や施設養護観を養う。

## 内容

- |                   |                  |                  |           |
|-------------------|------------------|------------------|-----------|
| 1.児童養護の概念         | ・養護問題の現状         | ・社会的養護の必要性       | ・児童養護の歴史  |
| 2.子どもの権利と児童福祉施設   | ・児童の権利に関する条約     | ・児童福祉法に基づく養護の価値観 |           |
|                   | ・児童福祉施設の援助者の質    | ・施設養護の現代的課題      |           |
|                   | ・援助の理念           |                  |           |
| 3.家庭の役割と児童養護の体系   | ・子どもが生活する場       | ・養護原理と家庭機能       |           |
|                   | ・養護原理を活用する場      |                  |           |
| 4.養護の原理 養育        | ・子どもの人権への配慮      | ・施設養護の特質         |           |
| 5.養護の原理 保護        | ・家庭、地域、学校との連携    | ・親子関係の尊重と家族統合    |           |
|                   | ・施設内虐待が起こらない環境   |                  |           |
| 6.養護の原理 治療的援助     | ・専門職との連携         | ・受容と規制           | ・個別化      |
| 7.養護の原理 生活力の習得    | ・個別的援助技術の活用      | ・集団的援助技術の活用      |           |
| 8.養護の原理 生と性の倫理    | ・専門職の生命倫理        | ・子どもの性と心の育ち      |           |
| 9.社会による養護の仕組み     | ・児童虐待防止法         | ・措置費制度と児童相談所の機能  |           |
|                   | ・自立支援計画          |                  |           |
| 10.家庭養育困難児の施設養護   | ・養育条件が整わない家庭の状況  | ・児童養護施設と乳児院      |           |
| 11.障害児の施設養護       | ・知的障害児施設         | ・自閉症児施設          | ・肢体不自由児施設 |
|                   | ・重症心身障害児施設       |                  |           |
| 12.社会不適応児の施設養護    | ・児童自立支援施設        | ・情緒障害児短期治療施設     |           |
| 13.里親養護とその特徴      | ・里親委託児童の家庭状況     | ・委託のプロセスと里親養育の実際 |           |
| 14.児童福祉施設の運営・管理   | ・施設運営の実際         | ・施設運営の方向性        |           |
| 15.これからの児童福祉施設援助者 | ・スーパービジョンとチームワーク |                  |           |

## 評価

試験50点、レポート(2回)50点とし、60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】養護原理 坂本正路・高橋一弘・村田紋子・吉田真理編 萌文書林

【推薦書】日本の子ども家庭福祉（児童福祉法60年のあゆみ） 高橋重宏 明石書店

【参考図書】里親関係「里親制度の国際比較」湯沢・ミネルヴァ書房

科目名	児童福祉論		
担当教員名	青木 孝志		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、児童福祉をめぐる社会的背景について理解を深める(特に、少子化問題について詳細に解説する)。
- 2.児童福祉の欧米及び日本の歴史について理解するとともに、児童福祉の理念と意義について理解する。
- 3.児童福祉の法体系及び実施体制を理解するとともに、児童の福祉需要の把握方法について理解する。

#### 内容

- |                 |                                |
|-----------------|--------------------------------|
| 1.児童福祉の理念       | 児童を権利の主体として捉えるようになるまでの過程を振り返る  |
| 2.児童福祉の歴史1      | 日本における児童福祉の歴史を解説する             |
| 3.児童福祉の歴史2      | 欧米における児童福祉の歴史を解説する             |
| 4.子どもと家庭の権利保障1  | 「児童の権利に関する条約」の批准の意義と内容について解説する |
| 5.子どもと家庭の権利保障2  | 子どもの権利擁護活動の現状を解説する             |
| 6.現代社会と児童家庭福祉問題 | 少子化の現状とその背景について考察を深める          |
| 7.子ども家庭支援サービス   | 子育て家庭支援サービスの必要性とそのあり方を解説する     |
| 8.社会的養護と自立支援    | 子育て家庭支援サービスと社会的養護の関係について説明する   |
| 9.児童福祉の法体系      | 児童福祉を支える法律の概要を解説する             |
| 10.児童福祉の実施体制1   | 児童福祉の各種行政機関について解説する            |
| 11.児童福祉の実施体制2   | 市町村と児童相談所の役割及び連携のあり方について説明する   |
| 12.児童福祉施設       | 児童福祉施設の現状と課題について解説する           |
| 13.児童福祉の財政      | 児童福祉の費用と財源について説明する             |
| 14.児童家庭福祉       | 全体を振り返り児童と家庭の捉え方・需要の把握方法を考える   |
| 15.試験           | 5肢択一問題と論述問題                    |

#### 評価

ペーパーテスト60点、レポート(2回)40点とし、60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】社会福祉士養成講座委員 社会福祉士養成講座「児童福祉」 中央法規  
【推薦書】日本子ども資料年鑑 厚生労働白書  
【参考図書】社会福祉小六法 ミネルバ書房

科目名	児童福祉論		
担当教員名	青木 孝志		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

児童福祉 の学習を前提として、児童福祉の各分野における施策の現状と課題を理解するとともに、児童福祉現場の専門職について理解を深める。

1. 児童福祉施策の現状について理解する。
2. 民間福祉サービスの役割と現状について理解する。
3. 児童福祉関連分野の専門職と連携のあり方について理解する。
4. 児童に関する相談援助活動について理解する。

#### 内容

- |               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 1. 母子保健施策     | 母子保健施策の趣旨と現状及び課題について解説する         |
| 2. 障害児の福祉     | 障害児をめぐる施策の現状及び課題について解説する         |
| 3. 児童健全育成施策   | 児童健全育成の趣旨と現状及び課題について解説する         |
| 4. 保育対策       | 多様化する保育需要と施策の現状及び課題について解説する      |
| 5. 幼保一元化      | 幼保一元化を巡る動向と認定子ども園の現状及び課題について解説する |
| 6. 要保護児童の福祉   | 児童養護施設と里親制度の現状及び課題について解説する       |
| 7. 被虐待児童の福祉1  | 児童虐待の現状とその背景について解説する             |
| 8. 被虐待児童の福祉2  | 被虐待児童の保護及び保護者指導の現状及び課題について解説する   |
| 9. 非行児童の福祉    | 非行児童をめぐる自立支援施策の趣旨と現状及び課題について解説する |
| 10. 情緒障害児の福祉  | 情緒障害児をめぐる施策の現状及び課題について解説する       |
| 11. ひとり親家庭の福祉 | 母子家庭、父子家庭を巡る施策の現状及び課題について解説する    |
| 12. 児童福祉専門職   | 児童の福祉に関わる専門職の基本的要件と倫理について解説する    |
| 13. 関係機関の連携   | 民間福祉サービスを含め関連分野の連携のあり方について解説する   |
| 14. 児童相談援助活動  | 児童に関する相談援助活動の特性と留意点について解説する      |
| 15. 試験        | 5肢択一問題及び論述問題                     |

#### 評価

ペーパーテスト60点、レポート(2回)40点とし、60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】社会福祉士養成講座編集委員会 社会福祉士養成講座「児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉」制度中央法規
- 【推薦書】日本子ども資料年鑑 厚生労働白書
- 【参考図書】社会福祉小六法 ミネルバ書房



科目名	ソーシャルワーク論		
担当教員名	伊藤 わらび		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

- 基本的なコミュニケーションや、人との付き合い方などの円滑な人間関係形成を図るための方法について理解する。
- 人権尊重、権利擁護、自立支援等の観点をふまえた社会福祉サービスと、援助活動の関係について理解する。
- 福祉専門職と、専門援助技術の関係について理解する。
- 社会福祉援助活動の展開過程と共通課題について理解する。

#### 内容

- (1) 社会福祉サービスと援助活動の関係について
- (2) 福祉専門職と専門援助技術の関係について
- (3) 専門援助技術の歴史的展開
- (4) 社会福祉援助技術の考え方と方法
  - 社会福祉援助技術の目的と価値
  - 社会福祉援助技術の原則
  - 社会福祉援助技術の各論 ( a . 個別援助技術・集団援助技術 b . 地域援助技術 c . 社会福祉計画・社会福祉運営管理・社会福祉調査・社会活動 )
  - 社会福祉援助技術の展開過程
  - 社会福祉援助技術の共通課題

#### 評価

ペーパーテスト ( 60% ) 及びレポート ( 40% )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】山崎美貴子・北川清一編著 『社会福祉援助活動 転換期における専門職のあり方を問う』  
岩崎学術出版社

科目名	ソーシャルワーク論		
担当教員名	青木 孝志		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

- 1.社会福祉士の役割と意義について理解する。
- 2.相談援助の概念と範囲について理解する。
- 3.相談援助の理念について理解する。
- 4.相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。

## 内容

- 1.社会福祉士及び介護福祉士法制定の背景と意義
- 2.社会福祉士及び介護福祉士法改正の背景と社会福祉士への期待
- 3.社会福祉士及び介護福祉士法における社会福祉士の役割と義務
- 4.ソーシャルワークの定義（国際ソーシャルワーカー連盟の定義）
- 5.ソーシャルワークの知識・技術・価値
- 6.ソーシャルワークの構成要素
- 7.ソーシャルワークの源流
- 8.ソーシャルワークの基礎確立期
- 9.ソーシャルワークの展開期
- 10.ソーシャルワークの統合化
- 11.ソーシャルワークにおける人間尊重と社会正義
- 12.ソーシャルワークにおける自己決定と尊厳の保持
- 13.ソーシャルワークにおける自立支援
- 14.ソーシャルワークにおけるノーマライゼーションと社会包摂
- 15.ソーシャルワーク実践と権利擁護

## 評価

4回のレポート（40点）と筆記試験（60点）を総合し、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

相談援助の基盤と専門職（中央法規・社会福祉士養成講座第6巻）岩間伸之・福島喜代子編集

科目名	ソーシャルワーク論		
担当教員名	伊藤 わらび		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

基本的コミュニケーションや、他人との関わり方において、人間関係を円滑に形成するための方法について理解を深める。

福祉専門職と、専門援助技術の関係について理解する。

個別援助技術と集団援助技術の体系と、展開過程、共通課題等について理解する。

社会福祉援助技術に由来する倫理について。

#### 内容

##### (1) 個別援助技術(ケースワーク)の体系と内容

###### ケースワークの定義

沿革と発展

展開過程

基本原則

ケースワークの概念

ケースワークの記録様式

スーパービジョンの機能と方法

効果測定の意義と方法

事例研究

##### (2) 集団援助技術(グループワーク)の体系と内容

グループワークの定義

沿革と発展

援助過程

グループワークの原則

グループワークの理論モデル

記録様式

スーパービジョンの機能と方法

事例研究

#### 評価

ペーパーテスト及びレポート

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】授業で指示する。

科目名	ソーシャルワーク論		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 基本的コミュニケーションや、他者とのかわり方などの円滑な人間関係形成を図るための方法について理解を深める。
2. 人権尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえた社会福祉サービスと援助活動の関係について理解する。
3. 福祉専門職と、専門援助技術の関係について理解する。
4. 社会福祉援助活動の展開過程を重視しながら、その目的・価値・原則及び体系とそこにおける共通課題について理解する。
5. 社会福祉援助活動における間接援助技術の体系について理解する。
6. 社会福祉援助技術に由来する倫理について理解する。

#### 内容

1. 社会福祉援助技術の理論と動向 コミュニティソーシャルワーク機能の必要性と専門職の役割
2. 社会福祉専門職と社会福祉援助活動 コミュニティソーシャルワークとして求められる機能
3. 社会福祉専門職と社会福祉援助活動 ソーシャルワーカーの視点
4. 社会福祉援助技術の形成
5. 地域援助技術の意義・定義 地域援助技術の萌芽
6. 地域援助技術の意義・定義 COS、セツルメント運動
7. 地域援助技術の意義・定義 地域援助技術の基礎 レイン報告、インターグループワーク論
8. 地域援助技術の意義・定義 概念規定について
9. 地域援助技術の意義・定義 コミュニティワークとコミュニティオーガニゼーションについて
10. 地域援助技術の展開視点について 地域アセスメント
11. 地域援助技術の展開視点について 地域ニーズの把握
12. 地域援助技術の展開視点について 地域の組織化
13. 地域援助技術の展開視点について サービス資源の調整・開発
14. マッピング技法 - ジェノグラム、ファミリーマップ、エコマップ
15. 国家試験と同様の五者択一問題による試験

#### 評価

出席(毎回行う授業に対する評価カードの提出)及び授業態度(30点)、ペーパーテスト(70点)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】福祉士養成講座編集委員会編集 『新版社会福祉士養成講座 社会福祉援助技術論 ・ 』

中央法規出版株式会社を予定しているが、法改正に伴うテキスト改訂により変更の可能性あり。改めて指示する。

科目名	ソーシャルワーク論		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 福祉専門職と、専門援助技術の関係について理解する。
2. 社会福祉援助活動の展開過程を重視しながら、その目的・価値・原則及び体系とそこにおける共通課題について理解する。
3. 人権尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえた社会福祉サービスと援助活動の関係について理解する。
4. 社会福祉援助活動における間接援助技術の体系について理解する。

## 内容

1. 地域援助技術の理論と技術 地域援助技術の展開方法 準備段階から活動主体の組織化
2. 地域援助技術の理論と技術 地域援助技術の展開方法 活動計画作成から実践準備
3. 地域援助技術の理論と技術 地域援助技術の展開方法 実践から評価、次の展開へ
4. 地域援助技術と援助原則 コミュニティ理解に基づく集団、組織の診断方法
5. 地域援助技術の具体的展開 情報収集と広報、動機づけ
6. 住民による福祉活動の支援方法
7. 社会福祉調査法
8. 社会福祉調査法
9. 社会福祉計画の理論と技術
10. 地域福祉活動計画
11. 地域福祉計画
12. 社会福祉の運営管理
13. 社会活動法
14. ケアマネジメント、スーパービジョン、評価等について
15. 国家試験と同様の五者択一問題による試験

## 評価

出席(毎回行う授業に対する評価カードの提出)及び授業態度(30点)、ペーパーテスト(70点)

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】福祉士養成講座編集委員会編集 『新版社会福祉士養成講座 社会福祉援助技術論 』

中央法規出版株式会社を予定しているが、法改正に伴うテキスト改訂により変更の可能性あり。改めて指示する。

科目名	公的扶助論		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- ・低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する。
- ・相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する。
- ・自立支援プログラムの意義とその実際について理解する。

#### 内容

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

#### 目次

- 1 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要
- 2 生活保護費と保護率の動向
- 3 生活保護法の概要
- 4 国・都道府県・市町村、ハローワークの役割
- 5 現業員及び査察指導員の役割
- 6 保健医療との連携、労働施策との連携、その他の連携との連携
- 7 福祉事務所の組織体系及び活動の実際
- 8 自立支援プログラムの目的・作成過程・方法
- 9 自立支援プログラムの実際
- 10 生活福祉資金の概要
- 11 低所得者に対する自立支援の実際
- 12 無料定額診療制度
- 13 公営住宅
- 14 ホームレス自立支援法の概要
- 15 授業の総まとめ(ペーパー試験を含む)

#### 評価

出席40点及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[使用テキスト](使用予定)

- ・伊藤秀一編『低所得者に対する支援と生活保護制度 - 公的扶助』弘文堂

科目名	公的扶助論		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.生活保護制度の概要につき、その基本的内容を理解する。
- 2.低所得者対策の概要および関連施策につき、その基本的内容を理解する。
- 3.公的扶助と社会福祉援助活動につき、その基本的内容を理解する。

## 内容

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

## コマ数

- 1 生活保護制度の目的と原理・原則
- 2 生活保護制度の目的と原理・原則
- 3 生活保護の種類
- 4 生活保護の種類
- 5 保護施設
- 6 最低生活費の概念
- 7 生活保護基準
- 8 保護の実施機関
- 9 生活保護の決定実施
- 10 生活保護に関する費用負担
- 11 被保護者の権利と義務
- 12 自立助長とケースワーク
- 13 自立支援プログラムによる支援活動の実際
- 14 自立支援プログラムによる支援活動の実際
- 15 授業の総まとめ(ペーパー試験を含む)

## 評価

出席40点及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[使用テキスト](使用予定)

- ・伊藤秀一編『低所得者に対する支援と生活保護制度 - 公的扶助』弘文堂

科目名	地域福祉論		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.地域福祉の基本的考え方について理解する
- 2.地域福祉の主体と対象について理解する
- 3.地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。
- 4.地域福祉におけるネットワークの意義と方法及びその実際について理解する。
- 5.地域福祉の推進方法について理解する。

## 内容

1	行政と住民の協働による新しい福祉としての地域福祉
2	地域福祉の基本的な考え方
3	地域福祉の基本的な考え方
4	地域福祉の主体形成
5	行政組織と民間組織の役割と実際
6	行政組織と民間組織の役割と実際
7	専門職や地域住民の役割と実際-コミュニティソーシャルワークについて -
8	専門職や地域住民の役割と実際-コミュニティソーシャルワークについて -
9	地域福祉の推進方法 ネットワーキング
10	地域福祉の推進方法 社会資源活用・調整・開発
11	地域福祉の推進方法 福祉ニーズ把握方法と実際
12	地域福祉計画について
13	地域福祉における福祉サービスの評価方法と実際
14	日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方
15	国家試験と同様の五者択一問題による試験

## 評価

出席(毎回行う授業に対する評価カードの提出)及び授業態度(30点)、ペーパーテスト(70点)

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】社会福祉士養成講座編集委員会 『新・社会福祉士養成講座 第9巻 地域福祉の理論と方法』 中央法規出版株式会社



科目名	地域福祉論		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

社会福祉法において、地域福祉の推進が明文化された。社会福祉資源の活用、社会福祉制度の確立によって地域福祉活動を展開するだけでなく、推進の主役である住民の主体形成を図ることが重要と考える。そして、地域福祉を推進する住民の主体形成を意図的に行なう営みが福祉教育といえる。

本科目では、福祉課題を素材として社会福祉への理解と関心を深め、その課題解決に向けて自ら取り組もうとする姿勢を育む福祉教育実践について考察することから、より地域福祉理解を図ることをねらいとする。

#### 内容

1. 福祉教育について - 社会福祉法「地域福祉の推進」から -
2. 福祉教育が求められる背景
3. 福祉教育の理念
4. 福祉教育の視点
5. 福祉教育の視点
6. 課題解決型体験学習の展開方法視点
7. 課題解決型体験学習の展開方法視点 具体的事例紹介
8. 福祉教育実践における支援者役割について
9. これから求められる地域福祉の推進のための福祉教育実践
10. 福祉教育の歴史的展開について
11. 学校を中心とする実践と展開方法
12. 学校を中心とする実践と展開方法 具体的事例紹介
13. 地域における実践と展開方法
14. 地域における実践と展開方法 具体的事例紹介
15. 地域における福祉教育推進システム構築について

#### 評価

出席（毎回行う授業に対する評価カードの提出）及び授業態度（30点）、レポート（70点）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

講義においてプリントを配布。

科目名	介護概論		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状（福祉）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

1. 介護問題発生の社会的、歴史的背景を理解する。
2. 介護の役割と範囲を理解させるとともに、看護・医療および家政との関係について理解させる。
3. 具体的介護の展開過程や介護の実際について演習形式等を活用し理解させる。

#### 内容

1. 介護をめぐる社会的動向と歴史
2. 介護の目標、機能および範囲
  - 1) 介護の原則、目標、機能および範囲
  - 2) 自立的な生活維持にたいする需要と介護の役割
  - 3) 健康維持のメカニズム
3. 生活と介護
4. 介護の理念と原則
5. 介護関係維持のための技法
  - 1) 健康や生活の観察技法
  - 2) コミュニケーション技法
  - 3) 記録と情報の共有化の技法
  - 4) 介護専門職と医師・看護師・保健師等医療職との連携の在り方
  - 5) 介護専門職とその他の福祉専門職との連携の在り方
6. 介護過程の展開
7. 身体介護の技術および演習

#### 評価

出席、レポートで30点、試験で70点とする。欠席が多い場合（3回以上）出席点を差し引く。  
3分の2以上の出席で試験の受験可。試験、出席、レポートを合計し評価する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】新版 社会福祉学習双書 『介護概論』 全国社会福祉協議会 369/S/13  
『介護概論 生活の視点から導く介護の本質（新版）』 みらい 369/K

科目名	介護概論		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 身体的および精神的な変化に対する観察能力を身につけ、それらの変化にすみやかに対処できる能力を養い、保健、医療機関・専門職との連携、協力および必要に応じた手助けをすることができるようにする。
2. 病気や遭遇しやすい事故についての知識をもち、それらに対する予防措置を講ずることができるようにする。

#### 内容

1. 生活の基盤を支える介護技術の考え方
2. リハビリテーションの視点
3. 介護の対象者に応じた介護技術の考え方
  - 1) 寝たきり高齢者の介護
  - 2) 認知症高齢者の介護
  - 3) 障害者の介護
4. 介護活動の場に特有な問題と介護技術
  - 1) 在宅介護について
  - 2) 施設介護について
5. ターミナルケアの考え方
6. 介護における相談活動

#### 評価

出席、レポートで30点、試験で70点とする。欠席が多い場合(3回以上)出席点を差し引く。  
3分の2以上の出席で試験の受験可。試験、出席、レポートを合計し評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】新版 社会福祉学習双書 『介護概論』 全国社会福祉協議会 369/S/13  
『介護概論 生活の視点から導く介護の本質(新版)』 みらい 369/K

科目名	精神保健福祉論		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

精神保健の意義、精神障害の基礎知識、精神保健福祉制度の概要について理解する。

生活の場及びライフサイクルにおける精神保健の役割について理解し、この中で保健福祉の視点や多様な係わりの可能性について考える。

精神保健福祉の歴史的、社会的背景を学び、その必要性についての理解を深め、精神保健福祉制度の概要や支援の課題を学ぶ。

#### 内容

##### 精神保健福祉の意義

##### 精神保健福祉とはな何か

##### 現代社会における精神保健福祉の重要性

##### 精神的不健康の広がり

##### 児童、思春期、成人期、老年期における精神保健福祉

##### 地域(家庭を含む)における精神保健福祉

##### 職場や学校における精神保健福祉

##### 予防・回復における精神保健福祉の役割

##### 精神障害の基礎知識

##### 代表的な疾病の概要 (心身症、神経症、そううつ病、統合失調症、中毒性精神

病、その

他)

##### 老年期の精神障害(痴呆の定義、原因、出現率、症状と問題行動、対応の原則等)

##### 精神保健福祉政策を考える

##### 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の変遷と概要

##### 精神保健福祉の理念(精神障害者と人権保障、精神障害者の地域生活支援)

##### 精神保健福祉関係機関の役割

##### 精神保健福祉士の役割と他職種との連携

##### 当事者や家族による自助グループの活動

##### 事例に見る精神障害者地域支援

##### 新座市における活動を考える

#### 評価

出席 30% レポート 20% 試験 50%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】藤本豊、花澤佳代編「よくわかる精神保健福祉」ミネルバ書房

【推薦書】野末浩之「こころ・からだ・くらし」精神障害者の理解と地域支援 萌文社

成清美治，加納光子，青木聖久編著 「精神保健福祉」 学文社，

科目名	子ども家庭福祉		
担当教員名	伊藤 わらび		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1年次において必修科目として履修した、「児童福祉 ・ 」の理解の上に、急速に変貌している、現代の日本の社会の中で生きている子どもたちの成長・発達を阻む問題と、その解決の方法について学ぶ。また、世界の子どもたちにとって、「子どもの権利条約」の理念と、その実現の有り方について考えると共に、学習を深める。

## 内容

- (1) 子ども家庭福祉の意義と施策の現状
- (2) 「子どもの権利条約」の成立と子どもを取り巻く世界の動向
- (3) 子ども家庭福祉実践におけるソーシャルワーク
- (4) 日本の子どもの状況と課題
  - 児童虐待問題の事例研究
  - 養護問題の事例研究
  - 非行問題の事例研究
  - 不登校児の事例研究
  - 心身障害児の事例研究
  - 家族問題の事例研究

## 評価

レポート・提出物

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用せず

参考図書は、授業中に紹介する。

科目名	子ども家庭福祉		
担当教員名	伊藤 わらび		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本では、歯止めのない出生数の減少により、少子高齢化の進行に拍車をかけている。今日、子育て支援施策は、将来の日本の人口問題を左右する重要施策とされ、2003年7月には、「少子化社会対策基本法」、及び、「次世代育成支援対策推進法」が制定され、2005年4月より施行された。本講義においては、現代の家庭の変容と、児童虐待に象徴される子育ての困難な状況及び、家庭への育児支援対策の現状について学習する。

#### 内容

- (1) 現代の家族の状況と育児問題
  - 家庭の変容と子育て困難の実態
  - 一人親家庭における育児の問題
  - 保育所の現状と課題
  - 家族援助の方法
- (2) 育児支援施策の現状と課題
  - 子育て支援の意義と目的
  - 育児支援に関する施策、法律
  - 地域における子育て支援の現状
  - 保育所における子育て支援の現状
  - 児童福祉施設における子育て支援の現状
- (3) これからの家庭のあり方 男女が共に担う家庭の創造
- (4) 自治体の「子ども家庭支援センター」の見学
- (5) 学生の居住自治体の「子ども家庭支援センター」でのボランティア活動を通しての学習

#### 評価

レポート

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】長谷川真人編著 『子どもの援助と子育て支援---児童福祉の事例研究』 ミネルヴァ書房

科目名	社会福祉施設経営論		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、福祉援助者が実際に施設現場で勤務する中で求められる役割・機能や課題についての理解を深めることをねらいとする。特に自己成長及び職能的成長を目的とした援助者自身の自己理解・自己覚知の必要性について理解を深める。また、施設の指導的職員に求められるスーパービジョンについて事例を通して考察する。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	福祉援助者の自己成長・職能成長
3	気づき・自己覚知と自己の活用
4	スーパービジョンの機能と形態
5	スーパービジョン事例1：提示と検討
6	専門的援助関係とスーパービジョン関係
7	スーパービジョン事例2：提示と検討
8	利用者の感情転移、利用者への逆転移
9	スーパービジョン事例3：提示と検討
10	スーパービジョン関係におけるパラレル関係
11	スーパービジョン事例4：提示と検討
12	組織の中の援助者：その機能と制限
13	バーンアウトの対策と予防
14	成長する援助者：省察的実践者としての援助者、成人学習論との関連において
15	まとめ

#### 評価

出席及び授業中提示した課題40点、試験もしくは最終レポート課題60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

植田寿之『対人援助のスーパービジョン』中央法規

堀之内高久『介護職のためのストレス対処法』中央法規

清水隆則他編著『ソーシャルワーカーにおけるバーンアウト』中央法規



科目名	社会保障論		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

- ・現代社会における社会保障制度の課題(少子高齢化と社会保障の関係を含む)について理解する。
- ・社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程を含めて理解する。
- ・社会保障制度の体系と概要について理解する。

#### 内容

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

#### 目次

- 1 人口動態の変化、少子高齢化
- 2 労働環境の変化(男女共同参画、ワークライフバランス等を含む)
- 3 社会保障の概念と範囲
- 4 社会保障の役割と意義
- 5 社会保障の理念
- 6 社会保障の対象
- 7 社会保障制度の発達(諸外国)
- 8 社会保障制度の発達(日本)
- 9 社会保障の財源
- 10 社会保障給付費
- 11 国民負担率
- 12 社会保険と社会扶助の関係
- 13 社会保険の概念と範囲
- 14 社会扶助の概念と範囲
- 15 授業全体の総まとめ(ペーパー試験を含む)

#### 評価

出席40点及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[使用テキスト](使用予定)

阿部裕二編『社会保障 - 社会保障制度 社会保障サービス』弘文堂

科目名	社会保障論		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- ・社会保障(社会保険)制度の体系について理解する。
- ・年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。
- ・公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。
- ・諸外国における社会保障制度の概要について理解する。

内容

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

取数

- 1 社会保障(社会保険)制度の体系
- 2 年金保険制度の概要(制度の目的、対象、給付内容、財源構成等)
- 3 医療保険制度の概要(制度の目的、対象、給付内容、財源構成等)
- 4 介護保険制度の概要(制度の目的、対象、給付内容、財源構成等)
- 5 労災保険制度の概要(制度の目的、対象、給付内容、財源構成等)
- 6 雇用保険制度の概要(制度の目的、対象、給付内容、財源構成等)
- 7 社会福祉制度の概要(制度の目的、対象、給付内容、財源構成等)
- 8 生活保護制度の概要(制度の目的、対象、給付内容、財源構成等)
- 9 家族手当制度の概要(制度の目的、対象、給付内容、財源構成等)
- 10 年金保険制度の具体的内容(国民年金、厚生年金、各種共済組合の年金)
- 11 医療保険制度の具体的内容(国民健康保険、健康保険、各種共済組合の医療保険)
- 12 公的施策と民間保険制度の現状(民間の年金保険・医療保険・介護保険等)
- 13 諸外国における社会保障制度の概要(北欧、西欧)
- 14 諸外国における社会保障制度の概要(アメリカ)
- 15 授業の総まとめ(ペーパー試験を含む)

評価

出席40点及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[使用テキスト](使用予定)

阿部裕二編『社会保障 - 社会保障制度 社会保障サービス』弘文堂

科目名	社会福祉基礎実習		
担当教員名	大山 博幸、伊藤 わらび		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

社会福祉基礎実習 では、社会福祉基礎実習 における学習をより深めるものとする。対象者(利用者)とのかかわりの深化、各援助技術の理解等の臨床次元をその中心的な学習内容とする。

#### 内容

1. 「現場」でのボランティア実習(学童保育室)など
2. 実習に向けての基本的社会スキルの習得
3. プロセスレコードの記述
4. 社会福祉の実践「現場」に対する問題意識の形成、明確化。
5. 将来の実習イメージの形成、明確化

#### 評価

出席とボランティア実習の参加40点(但しボランティア実習の実施は授業評価実施の最低条件とする)及び実習後のレポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】得になし。授業中の資料等を使用

科目名	社会福祉援助技術現場実習		
担当教員名	伊藤 わらび、大山 博幸、片居木 英人、栗原 直樹 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 現場体験を通して社会福祉専門職としての仕事をするうえで、必要な「専門知識」「専門援助技術」「関連知識」の理解を深めるとともに、実際に活用し体得する。
2. 職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。
3. 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し倫理として体系する能力を身につける。
4. 関連分野の専門職との連携のあり方、および内容を理解する。

#### 内容

配属に際しては健康診断などにより良好な健康状態であることを確認する。

実習先は巡回指導が随時可能な範囲で行うが、実習 が施設中心の実習だったのに対し、今回は施設だけでなく、児童相談所、福祉事務所などの機関、および社会福祉協議会も含めるなど実習先を拡大し広く学べるようにする。

また2回目の実習ということもあり、実習内容をさらに深めたものにするるとともに、大学で学んだ知識と現場実習での経験の相互のフィードバックをはかり、倫理と実践の統合をはかることを目的とする。

#### 評価

実習態度や実習先の評価を含んで総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	社会福祉援助技術演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントをはじめとする各社会福祉援助技術によってなされるその専門的援助行為は、利用者と援助者との人間的な関係性に規定されることとなる。ここに対人援助の専門職(helping profession)といわれる福祉実践の特質がある。それゆえ将来福祉職を目指す学生は、専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これら対人関係を築き生きていく力を形成することとは、他者への十分な理解及び自分自身への理解(自己覚知)をそれぞれ広げ深めていく力であると言い換えられる。本授業では福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくに必要な学生自身の自己覚知を広げ深めていくことをねらいとする。

内容

1	オリエンテーション・本授業の位置づけ・各諸定義
2	人間関係(human relations)と対人関係(interpersonal relationship)
3	援助者の自己概念と自己覚知
4	自己概念の気づきのワーク1: Who I am?など
5	自己概念の気づきのワーク2: 交流分析など
6	自己概念の気づきのワーク4: ライフラインなど
7	いま・ここでの気づきのワーク1: ゲシュタルトセラピーの理論とスキルから
8	いま・ここでの気づきのワーク2: ゲシュタルトセラピーの理論とスキルから
9	専門的援助関係について: 転移と逆転移あるいは投影性同一化とパラレルプロセス
10	他者とのかかわりのワーク1: ニューカウンセリングを中心に
11	他者とのかかわりのワーク2: ニューカウンセリングを中心に
12	他者とのかかわりのワーク3: ニューカウンセリングを中心に
13	専門的援助関係について: ケースワークの各諸理論・定義から
14	専門的援助関係について: ケースワーク、グループワークに向けて
15	まとめもしくは試験

評価

出席もしくは授業中のミニレポート40点、最終レポートもしくは試験60点により評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

伊藤博 『身心一如のニュー・カウンセリング』 誠信書房

『交流分析とエゴグラム』 チーム医療

百武正嗣 『エンプティチェアテクニック入門』 川島書店

科目名	社会福祉援助技術演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントをはじめとする各社会福祉援助技術によってなされるその専門的援助行為は、利用者と援助者との人間的な関係性に規定されることとなる。ここに対人援助の専門職(helping profession)といわれる福祉実践の特質がある。それゆえ将来福祉職を目指す学生は、専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これら対人関係を築き生きていく力を形成することとは、他者への十分な理解及び自分自身への理解(自己覚知)をそれぞれ広げ深めていく力であると言い換えられる。本授業では福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくに必要な学生自身の自己覚知を広げ深めていくことをねらいとする。

内容

1	オリエンテーション・本授業の位置づけ・各諸定義
2	人間関係(human relations)と対人関係(interpersonal relationship)
3	援助者の自己概念と自己覚知
4	自己概念の気づきのワーク1: Who I am?など
5	自己概念の気づきのワーク2: 交流分析など
6	自己概念の気づきのワーク4: ライフラインなど
7	いま・ここでの気づきのワーク1: ゲシュタルトセラピーの理論とスキルから
8	いま・ここでの気づきのワーク2: ゲシュタルトセラピーの理論とスキルから
9	専門的援助関係について: 転移と逆転移あるいは投影性同一化とパラレルプロセス
10	他者とのかかわりのワーク1: ニューカウンセリングを中心に
11	他者とのかかわりのワーク2: ニューカウンセリングを中心に
12	他者とのかかわりのワーク3: ニューカウンセリングを中心に
13	専門的援助関係について: ケースワークの各諸理論・定義から
14	専門的援助関係について: ケースワーク、グループワークに向けて
15	まとめもしくは試験

評価

出席もしくは授業中のミニレポート40点、最終レポートもしくは試験60点により評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

伊藤博 『身心一如のニュー・カウンセリング』 誠信書房

『交流分析とエゴグラム』 チーム医療

百武正嗣 『エンプティチェアテクニック入門』 川島書店

科目名	社会福祉援助技術演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントをはじめとする各社会福祉援助技術によってなされるその専門的援助行為は、利用者と援助者との人間的な関係性に規定されることとなる。ここに対人援助の専門職(helping profession)といわれる福祉実践の特質がある。それゆえ将来福祉職を目指す学生は、専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これら対人関係を築き生きていく力を形成することとは、他者への十分な理解及び自分自身への理解(自己覚知)をそれぞれ広げ深めていく力であると言い換えられる。本授業では福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくに必要な学生自身の自己覚知を広げ深めていくことをねらいとする。

内容

1	オリエンテーション・本授業の位置づけ・各諸定義
2	人間関係(human relations)と対人関係(interpersonal relationship)
3	援助者の自己概念と自己覚知
4	自己概念の気づきのワーク1: Who I am?など
5	自己概念の気づきのワーク2: 交流分析など
6	自己概念の気づきのワーク4: ライフラインなど
7	いま・ここでの気づきのワーク1: ゲシュタルトセラピーの理論とスキルから
8	いま・ここでの気づきのワーク2: ゲシュタルトセラピーの理論とスキルから
9	専門的援助関係について: 転移と逆転移あるいは投影性同一化とパラレルプロセス
10	他者とのかかわりのワーク1: ニューカウンセリングを中心に
11	他者とのかかわりのワーク2: ニューカウンセリングを中心に
12	他者とのかかわりのワーク3: ニューカウンセリングを中心に
13	専門的援助関係について: ケースワークの各諸理論・定義から
14	専門的援助関係について: ケースワーク、グループワークに向けて
15	まとめもしくは試験

評価

出席もしくは授業中のミニレポート40点、最終レポートもしくは試験60点により評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

伊藤博 『身心一如のニュー・カウンセリング』 誠信書房

『交流分析とエゴグラム』 チーム医療

百武正嗣 『エンプティチェアテクニック入門』 川島書店

科目名	社会福祉援助技術演習		
担当教員名	青木 孝志、伊藤 わらび、安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 授業においては学生に課題や役割を与え、学生自身の積極的な参加を促しながらすすめ、理論学習と技術学習を関連させて理解・修得できるようにする。
2. 特に、個人とのソーシャルワークの技術を中心に実践的・体験的に学ぶ。

#### 内容

1. 個人とソーシャルワークの基礎
2. 個人とソーシャルワークの過程
3. インテーク面接
4. アセスメントの方法
5. 援助計画(プランニング)の方法
6. 援助・支援活動の実際
7. 評価と終結
8. 面接における基本的コミュニケーション
9. 面接における基本的応答技法
10. 基本的応答技法の活用
11. 傾聴と共感
12. 支持と焦点を当てた面接
13. ロールプレイの体験
14. ロールプレイ用ケースの作成
15. 作成したケースでロールプレイ

#### 評価

授業態度60点(演習は学生の積極的参加を前提とするので重視)、提出シート40点とし、60点以上を合格

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】山辺朗子著 ワークブック社会福祉援助技術演習 個人とのソーシャルワーク ミネルヴァ書房

【推薦書】その都度紹介する。

【参考図書】



科目名	社会福祉援助技術演習		
担当教員名	伊藤 わらび、青木 孝志、安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

学生個々人が、自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養(かんよう)する。また、演習の中で、具体的に、人権尊重、権利擁護、自立支援について理解すると共に、実際に行動出来るようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解する。

内容

具体的な援助事例を体系的に取り上げながら授業を進める。社会福祉援助技術をその援助過程を含めて、理解するために、担当教員による個別指導と、集団指導のもとで、学生自身の積極的な参加を促す。また、基本的なコミュニケーション等を含めた援助技術が、身に付くように、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を実施する。

評価

レポート

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】「ワークブック 社会福祉援助技術演習4 グループワーク」岩間伸之著 ミネルヴァ書房

科目名	社会福祉援助技術演習		
担当教員名	佐藤 陽、青木 孝志、伊藤 わらび		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

地域社会における福祉課題の解決について、関係者だけではなく、福祉サービスを必要とする人が生活する地域社会のなかで、相互に支えあえるよう、フォーマル、インフォーマルシステムを活用し、また開発して、その解決を専門職だけでなく、住民主体に展開していかれるようにするコミュニティソーシャルワーク実践方法について、事例をもとにロールプレイング等を取りいれながら学習させる。

特に、人権尊重、権利擁護、自立支援に対する意識が深められるよう、利用者と支援者役割を理解した上で、グループワーク、ディベート等の議論する機会を設ける。

#### 内容

1. コミュニティソーシャルワーク実践の展開過程を理解させる。
2. 地域及び住民のニーズを知る 地域福祉の援助技術について
3. 地域及び住民のニーズを知る 地域とは何か
4. 地域及び住民のニーズを知る 地域を知る
5. 地域及び住民のニーズを知る 住民を知る
6. 地域及び住民のニーズを知る 地域ニーズを知る
7. 事例に基づく演習展開
8. 事例に基づく演習展開
9. 事例に基づく演習展開
10. 事例に基づく演習展開
11. 事例に基づく演習展開
12. 事例に基づく演習展開
13. 事例に基づく演習展開
14. 事例に基づく演習展開
15. 具体的事例に基づく演習課題について支援方法について記述する(エコマップ作成を含む)

#### 評価

出席(20点)、演習における授業態度(40点)、演習課題(40点)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストを基本としますが、プリント等演習に必要な資料を適宜配布します。

【教科書】筒井のり子著 『ワークブック社会福祉援助技術演習5 コミュニティソーシャルワーク』

ミネルヴァ書房

科目名	形態別介護技術		
担当教員名	中村 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 障害者の心理・生活に配慮した自立支援と介護のあり方、社会参加について考える。
2. 各種福祉用具・機器・社会資源・支援システム等を理解し、有効な活用法を学ぶ。
3. 精神障害・知的障害の医学的基礎知識と生活困難性について体系的に理解する。
4. 自立概念についての理解を促しバリアフリーの具体的なイメージとノーマライゼーションの概念化を行う

内容

1. 肢体不自由者の運動機能障害についての基礎的理解(2~4回)

関連医学領域の基礎知識、肢体不自由に起因する介護上の諸問題、残存機能の特性と活用の理解

福祉用具の活用法、リハビリテーション、ユニバーサルデザインの現状を理解し、教育、就労などの社会参加について考える。

2. 内部障害の基礎的講義(5~10回)

内部障害(心臓機能障害・腎機能障害・呼吸機能障害・膀胱・直腸障害)および難病と関連医学領域の基礎知識。

難病の理解 3. 精神障害・知的障害・重複障害の基礎的講義(11~13回)

医学的基礎知識、障害に起因する生活の困難性、施設入所生活の歴史および弊害、介護上の諸問題

精神保健福祉士の役割の理解と、地域自立支援、見守りの意義等。

重複障害、特に重度心身障害児(者)および家族のライフサイクルに応じた支援

4. 保健医療福祉関係者との連携の重要性および地域ケアシステムの理解。

最終回では、グループ発表を行う。

各々の関心あるテーマを選び、グループで学習した内容を発表することで、学生間の共有を図る

評価

出席状況、学習態度、レポート(30%)

ペーパーテスト(70%)で総合的に評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

介護福祉士養成講座『形態別介護技術』 中央法規

科目名	福祉行政論		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- ・福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む)について理解する。
- ・福祉行財政の実際について理解する。
- ・福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。

#### 内容

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

#### 取組

- 1 国の役割(法定受託事務と自治事務等)
- 2 都道府県の役割(福祉行政の広域的調整、事業者の指導監督等)
- 3 市町村の役割(サービスの実施主体、介護保険制度における保険者等)
- 4 国と地方の関係(地方分権の推進)
- 5 福祉の財源(国・地方の財源、保険料財源、民間の財源等)
- 6 福祉行政の組織及び団体の役割(福祉事務所、児童相談所、婦人相談所、身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所、地域包括支援センター等)
- 7 福祉行政における専門職の役割(福祉事務所の現業員、査察指導員、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司、その他)
- 8 福祉計画の意義と目的
- 9 福祉計画における住民参加の意義
- 10 福祉行財政と福祉計画の関係
- 11 福祉計画の主体
- 12 福祉計画の種類(地域福祉計画、老人保健福祉計画、介護保険事業計画、障害福祉計画、その他)
- 13 福祉計画の策定過程(問題分析と合意形成過程、その他)・策定方法・留意点・評価方法
- 14 福祉計画の実際
- 15 授業の総まとめ(ペーパー試験を含む)

#### 評価

出席40点及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[使用テキスト](使用予定)

- ・池村正道編『福祉行財政と福祉計画 - 社会福祉行財政・福祉計画』弘文堂
- ・『国民の福祉の動向 2009』厚生統計協会

科目名	福祉住環境演習		
担当教員名	高間 謙治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

わが国の総人口は、2000年には約1億2千7百万人に達し、そのうちの約17%が65歳以上の高齢者である。今後急速に少子高齢化が進展することはよく知られるところであるが、少子高齢化社会の到来は、年金、雇用、医療、保険等、生活のあらゆる場面での多くの問題を抱えている。このような変革の時代に高齢者や障害者が地域社会で自立した生活を継続できるように社会全体で支援することが重要となることは疑う余地がない。高齢者や障害者が自立した生活をおくるために、その重要な課題のひとつに生活拠点としての住宅の問題がある。

本演習では、超高齢社会の到来を踏まえて、日本の住宅の抱える問題点を考え、住環境整備を進めるための基礎知識や基礎技術について理解を深めるものである。

但し、モデルの制作などを行うため、人数に制限あり。

#### 内容

1. 高齢化社会と住環境整備
  2. 社会福祉と住環境整備の考え方
  3. 高齢者の心身の機能と特性
  4. 高齢者に対する諸関連施策とサービス
  5. 福祉住環境整備の進め方
  6. 福祉住環境整備の基礎知識
  7. 福祉住環境整備の基礎技術
  8. 福祉住環境整備の手法
  9. 関連専門職への理解と連携
- 等々

#### 評価

出席30点、及び課題、随時のテスト等による評価70点により行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】『福祉住環境コーディネーター検定試験(3級テキスト)』

その他、授業の中で適時参考文献を配布、紹介する。

科目名	衣生活支援演習		
担当教員名	山口 典子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活の福祉を考えるうえで、その根底にあるものは家政学である。そして、福祉を学ぶ学生にとって衣生活支援演習は不可欠な学問である。この演習では、生涯にわたっての快適な衣生活を営むために、衣生活について概観し、理解を深め充実させるとともに、支援することのできる知識と技術を養う。

内容

1	被服の役割と機能
2	既製衣料品のJISサイズ表示
3	被服素材の特徴と鑑別
4	被服管理実習
5	基礎実習
6	基礎実習
7	基礎実習
8	基礎実習
9	応用作品の製作
10	応用作品の製作
11	応用作品の製作
12	応用作品の製作
13	作品の仕上げと評価
14	高齢者・障害者のための被服のデザイン・構成・色彩
15	高齢者・障害者のための被服の着脱の工夫

評価

出席状況50% 作品の提出50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】必要に応じて随時プリントを配布する。

科目名	食生活支援演習		
担当教員名	鎌田 恒夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

高齢者や摂食機能に障害のある人にとって、食事は生命を維持するために必須であるだけでなく、おいしく食事を摂取することは人生の大きい楽しみである。さらに脳を活性に保つという機能もある。運動不測に陥りがちな障害者の肥満を防止し、良質な生活をを提供できるよう、食物の基礎知識と食介護の技術を習得する。

#### 内容

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1. 食事と健康      | 食事の意味               |
| 2. 食品の科学      | 食物の条件               |
| 3. 食品の科学      | 栄養素(糖質、脂質、タンパク質)    |
| 4. 食品の科学      | 栄養素(ビタミン、ミネラル、食物繊維) |
| 5. 適正な食生活     | 肥満を防ぐ食事             |
| 6. 適正な食生活     | 生活習慣病を予防する食事        |
| 7. 献立の基本      | おいしい食事              |
| 8. 献立の基本      | 食べやすい食事             |
| 9. 心身障害児の食介護  | 摂食機能障害の予防           |
| 10. 心身障害児の食介護 | 食介護の方法              |
| 11. 高齢者の食介護   | 高齢者の身体的特徴           |
| 12. 高齢者の食介護   | 体調不良時の食事            |
| 13. 高齢者の食介護   | 食介護の方法              |
| 14. 食介護用品     |                     |
| 15. 評価        |                     |

#### 評価

単元毎の4回のペーパー試験をおこなう

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

使用しない

科目名	福祉情報論		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、援助場面において、アセスメントに代表される利用者情報や、援助者が知覚し生じる援助者自身の内的な情報を「臨床的情報」と位置づけ整理し、このような「臨床的情報」を起点に、援助者を取り巻く援助場面でのさまざまな事象を対象化し、読みぬく力を形成することを目指す。援助者はこのような自己のプロセスを含んだ「生きた情報」とらえ意味づけ、自らの援助に活用していくことが求められる。

#### 内容

必要に応じ、講義やミニ演習を行う。

1	各キーワードの定義：情報、コミュニケーション、システム、アセスメントなど
2	情報理論からのコミュニケーション理論：
3	臨床におけるコミュニケーション論：
4	臨床におけるコミュニケーション論：ワツラウィックのコミュニケーション語用論
5	臨床におけるコミュニケーション論：ベイトソンのダブルバインド理論
6	臨床におけるコミュニケーション論：神田橋の対話技法
7	臨床におけるコミュニケーション論：鯨岡のコミュニケーション論 1
8	臨床におけるコミュニケーション論：鯨岡のコミュニケーション論 2
9	臨床におけるコミュニケーション論：鯨岡のコミュニケーション論 3
10	リフレクティブアプローチ、プロセスレコードの実施：概要と臨床場面での適用の意義
11	リフレクティブアプローチ、プロセスレコードの実施：方法と方法論的態度
12	リフレクティブアプローチ、プロセスレコードの実施：その実施
13	リフレクティブアプローチ、プロセスレコードの実施：データの分析と展開
14	リフレクティブアプローチ、プロセスレコードの実施：データの分析と展開、考察
15	リフレクティブアプローチ、プロセスレコードの実施：報告とまとめ

#### 評価

出席もしくは授業中のミニレポート40点、最終レポートもしくは試験60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ポール・ワツラウィック『人間コミュニケーションの語用論』二瓶社

神田橋篠治『精神療法面接のコツ』岩崎学術出版社

グレゴリー・ベイトソン『精神の生態学』思索社

伊東博『身心一如のニュー・カウンセリング』誠信書房

藤岡完治『関わることへの意志』国土社



科目名	ケア論		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（福祉）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

ケア及びケアリングの概念について理解を進め、対人援助職におけるケア及びケアリングの思想の意義を探究していくことをねらいとする。

またスピリチュアリティの概念をはじめとする近年の超越性とケアリングとの関連についても考察していく。

## 内容

1	オリエンテーション
2	各定義・概念の整理：ケア・ケアリング、ケアとキュア、ケアの語源
3	代表的なケアリング理論の概観：看護領域、教育領域、福祉領域
4	メイヤロフのケアリング論 1
5	メイヤロフのケアリング論 2
6	メイヤロフのケアリング論 3
7	メイヤロフのケアリング論 4
8	看護におけるケアリング論 1
9	看護におけるケアリング論 2
10	教育におけるケアリング論：佐藤学、ノッティングスを中心に
11	対人援助におけるケアリングの意義
12	対人援助におけるケアリングの意義
13	ケアリングとスピリチュアリティ：ホリスティック理論との関連、WHOでの議論
14	ケアリングとスピリチュアリティ：トランスパーソナル理論との関連
15	まとめと授業評価

## 評価

出席もしくは授業中のミニレポート40点、最終レポートもしくは試験60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

ノッティングス『ケアリング - 倫理と道徳の教育 女性の観点から - 』晃洋書房

メイヤロフ『ケアの本質』ゆみる出版

モンゴメリー『ケアリングの理論と実践 コミュニケーションによる癒し』医学書院

科目名	福祉情報演習		
担当教員名	大山 博幸、丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、社会福祉調査、卒業研究等で必要となる情報リテラシー及び調査法の習得をすることを目的とする。そのため、調査の集計で用いる統計ソフト(Excel)の応用及び、調査技法を学び、実際に実践することを通して基礎的技法を身につける。

#### 内容

1	オリエンテーション エクセル基礎
2	社会福祉調査の基礎
3	図書館データベース検索ガイダンス
4	文献資料調査法入門
5	アンケート調査基礎
6	グループワーク：模擬調査票の作成
7	グループワーク：模擬調査票の作成
8	グループワーク：模擬調査票の作成
9	単純集計の基礎：尺度水準、代表値、最大値、最小値、範囲
10	統計基礎：分散、標準偏差、標準得点
11	統計基礎：エクセルを使った集計、グラフ化
12	統計基礎：相関係数
13	統計基礎：クロス集計、カイ2乗検定
14	調査結果報告
15	調査結果報告

#### 評価

出席及び授業中提示した課題40点、最終レポート課題60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

小野寺孝義・菱村豊『文科系学生のための新統計学』ナカニシヤ出版 2005

科目名	福祉倫理学		
担当教員名	青木 孝志		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

演習形式を取り入れ、「社団法人日本社会福祉士の倫理綱領」及び「社会福祉士の行動規範」を学ぶことをとおして、社会福祉専門職として目指すべき価値や目標及び取るべき態度や姿勢について理解を深め、社会福祉専門職としての倫理観を涵養する。

#### 内容

- 1.倫理綱領の必要性
- 2.倫理綱領と国際動向
- 3.ソーシャルワーカーの価値と原則
- 4.利用者に対する倫理責任
- 5.利用者の権利の最優先
- 6.受容と説明責任
- 7.利用者の自己決定の尊重
- 8.プライバシーの尊重、秘密保持
- 9.記録の開示と情報の共有
- 10.最良の実践を行う責務
- 11.他専門職との連携・共働
- 12.社会に対する倫理責任
- 13.国際社会への働きかけ
- 14.専門職としての倫理責任
- 15福祉専門職の支援と懲戒

#### 評価

授業中の態度及び発言内容(演習)40点、レポート4回)60点 60点以上を合格とする

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】「社会福祉士の倫理」 社団法人日本社会福祉士会倫理委員会 中央法規

他に適宜プリント等を配布する。

【推薦書】「ソーシャルワークの価値と倫理」フレデリック・G・リーマー著、秋山知久監訳

【参考図書】「ソーシャルワーク倫理ハンドブック」 中村優一監修 中央法規

科目名	死生学		
担当教員名	小田桐 正毅		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「生死」と「死生」はどのように異なるのか。また、「死生学」は「福祉」と何故関連するのか。さらには、「死生学」は「ライフやからだ」と何故関連するのか。本講義は、上記三点に集約される諸問題を見つめて、「日常生活における死生学」とはどのようなものであるのかを多角的に明らかにすることに焦点がある。将来、保健・医療・看護・福祉・介護の領域で仕事をしたいと考えている人、さらには多様な人間関係をよく考えてみたいと思っている人の基礎的な学習になって欲しいと願っている。

#### 内容

- (1) 本講義の視座と目的
- (2) 「人生観」「生死観」「死生観」
- (3) 「生と死」に対する多様な見解
- (4) 「生命活動」と「死生学」
- (5) 「ライフ・からだ」と「死生学」
- (6) 「健康・病気・障害」と「死生学」
- (7) 「生と死の四つの態様」と「死生学」
- (8) 「人間関係」と「死生学」
- (9) 「保健・医療・看護・福祉・介護」と「死生学」
- (10) 「ライフ・チャンス」と「死生学」

#### 評価

レポート(最終講義日に提出、課題は提出日の一ヶ月前に公表)。

評価点配分は出席40点、ペーパー60点。ペーパーについては、(1)講義内容を踏まえること、(2)順序立てて論じること、(3)自分の見解/考えを明記することが基準で、(3)が60%を占める。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリントを配付する。

【推薦書】毎回の講義で適宜指示する。

【参考図書】毎回の講義で適宜指示する。

科目名	医学一般		
担当教員名	高世 秀仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

医学の発展により、わが国は長寿社会を迎えている。高齢化社会に向かって進む中、医療・介護・看護・福祉・保健のさらなる連携が必要であり、福祉の領域においても、医学一般の学習は重要である。

- (1) 医学・医療の歴史と現状を学ぶ。
- (2) 疾病を理解するために、人体の構造と機能を学ぶ。
- (3) 現代社会と疾病 老人性疾患、生活習慣病、腫瘍、難病などについて学ぶ。
- (4) 介護福祉士と医療について学ぶ。

#### 内容

- (1) 人体の構造と機能 疾病・障害などの理解のために(循環器系、呼吸器系、消化器系、神経系、筋・骨格系、血液・ホルモン系)
- (2) 臨床医学(各科)の概要 医療の歴史と現状
- (3) 現代社会と疾病 代表的な疾病の概要等

#### 評価

ペーパーテストで評価(60点以上を合格とする)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】新版介護福祉士養成講座 『医学一般』 中央法規出版

科目名	医学一般		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年、急激に高齢化社会がすすみ、疾病構造の変化がおり、医療の政策、対策が変化している。高齢化社会では、福祉分野の充実が望まれるが、健康、病気、老化に関する医学知識は必須である。

本講座のねらいは、福祉・介護の現場に必要な医学の知識を学び、自分の健康について関心を持ち、よりよい対人援助ができる人材を育てることにある。

#### 内容

1. 医学概論
2. 人体構造と機能
3. 代表的な疾患
4. 精神障害、精神保健
5. リハビリテーション医療
6. 公衆衛生の現状
7. 保健医療対策
8. 医事法制と保健・医療機関および専門職

#### 評価

出席40点、ペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】福祉士養成講座編集委員会 『医学一般』 中央法規

科目名	医学一般		
担当教員名	高世 秀仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年、急激に高齢化社会がすすみ、疾病構造の変化がおり、医療の政策、対策が変化している。高齢化社会では、福祉分野の充実が望まれるが、健康、病気、老化に関する医学知識は必須である。

本講座のねらいは、福祉・介護の現場に必要な医学の知識を学び、自分の健康について関心を持ち、よりよい対人援助ができる人材を育てることにある。医学一般 では、より深い知識を得ることがねらいである。

#### 内容

1. 臨床医学の理解を深める
  - 健康・疾患・老化について
2. 社会医学の理解を深める
  - 公衆衛生・保健医療対策・医事法制
3. その他
  - 精神障害・精神保健、リハビリテーション

#### 評価

出席40点、ペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】福祉士養成講座編集委員会 『医学一般』 中央法規

科目名	医学一般		
担当教員名	村上 哲雄		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

医学の発展により、わが国は長寿社会を迎えている。高齢化社会に向かって進む中、医療・介護・看護・福祉・保健のさらなる連携が必要であり、福祉の領域においても、医学一般の学習は重要である。

- (1) 現代社会と疾病 老人性疾患、生活習慣病、腫瘍、難病などについて学ぶ。
- (2) 介護福祉士と医療について学ぶ。

#### 内容

- (1) 現代社会と疾病 代表的な疾病の概要等
- (2) 老人性疾患、生活習慣病 現代社会と疾病
- (3) リハビリテーション医療について

#### 評価

ペーパーテストで評価(60点以上を合格とする)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】新版介護福祉士養成講座 『医学一般』 中央法規出版



科目名	国際福祉論		
担当教員名	岡田 徹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

< 授業目標 >

社会福祉はこれまで国家・国民社会を前提にして生成展開されてきた。ここでは、この前提をいったん取り外し、「地球の見地に立った人間福祉」を考える。

< 科目の概要 >

地球世紀(Global century)と呼ばれる21世紀を生きる私たちにとって重要なキーワードはこの科目にある「福祉」と「国際化」である。ここでは社会福祉の中で最も創発的な領域である国際福祉の理論と実践を取り上げる。先進国型の「福祉」と途上国型の「開発」を包摂する概念として「人間福祉」を提起する。

## 内容

授業の進め方：毎回、講義レジュメを配布する。映像教材を用いる。毎授業時に小レポートを課す。

年間計画

1. なぜ今「国際福祉」か(意義)
2. 国際福祉とは何か(定義)
3. 国際福祉の生成展開過程(歴史)
4. 国際福祉問題1(難民問題)
5. 同上2(HIV・エイズ問題)
6. 同上3(在日外国人問題)
7. 同上4(南北問題)
8. 同上5(バングラデシュの貧困問題)
9. 国際福祉の存立根拠(脱主権国家化、人間福祉グローバル・ミニマム、地球市民社会)
10. 国際福祉の理論課題1(開発と福祉の包摂)
11. 国際福祉の理論課題2(開発とSWの統合)
12. 国際福祉の実践課題1(バングラデシュの農村および都市開発)
13. 国際福祉の実践課題2(フランスの家族政策)
14. 国際福祉論から見えてくる日本社会のかたち
15. 試験

## 評価

ペーパーテスト(40点)、毎授業時のリアクション・レポート(30点)、出席(30点)

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】岡田徹他編 『コミュニティ福祉学入門』 有斐閣 2005年 2300円+税

【参考図書】仲村優一編 『国際社会福祉』第12巻

岡田徹著 『国際社会福祉の歴史的動向』

科目名	福祉機器論		
担当教員名	鈴木 哉		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

生活を補助するものとしての福祉機器を紹介しながら、提供する「もの」という視点、利用する「道具」という視点を通して考える。また、実際に利用している方たちの意見や感想をむまえながら、世の中にある福祉機器のあり方についても目を向けて、グループワークを通して福祉機器についての視野を広めていく。ただ見る、聞くだけでなく、実際に体験したりイメージする機会をなるべく持ちながら、福祉機器を身近な存在としてとらえられるようにしていきたい。

#### 内容

##### [導入]

- 自分の身体が福祉機器に適応しているか体験する。
- 世の中にある福祉機器を紹介～福祉機器ってなんだろうか～

##### [検討]

- 福祉機器を使用している利用者側の感想、意見を聞き、利用者の視点について考える。
- 福祉機器を提供する側の感想、意見を聞き、提供する側の視点について考える。
- 私たちが目にする、または利用している福祉機器はどんな存在なのかを確かめ、考える。
- 世の中にある福祉機器は「便利」というだけでよい？。足りないこと、あったらいいなということを考える。

##### [発表]

- 自分が暮らす生活の中で存在する福祉機器について問題提起をし、意見交換をする。
- グループワークを通して、福祉機器を身近な存在とするにはどうすればよいかを考える。

授業は動きやすい服装で参加して下さい。

#### 評価

各授業毎のテーマについての個人の意見、発表を評価の対象とする。  
また、グループワークでの内容も評価の対象とする。  
最終的には、上記2点に加え、出席状況を勘案し総合評価とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### [推薦書]

- ・ロバート・F・マーフィー著 辻信一訳 「ボディ・サイレント」 平凡社ライブラリー
- ・わたなべ すがこ著 「I'm "MG" 重症筋無力症とほぼ日記」 三輪書店
- ・東島弘子著 「介護保険で利用できる 福祉用具-電動ベッドから車いす・歩行器まで」 岩波ブックレット

科目名	リハビリテーション論		
担当教員名	布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

リハビリテーションの基盤となる理念は、人権の保障であり、障害を持つ人々が能力を發揮できる状態にし、潤いのある豊かな生活を実現することである。リハビリテーションの理念、定義、目的、範囲、対象などリハビリテーションに関する基礎的事項について学習し、ノーマライゼーションの原理やQOLに視点をおき、リハビリテーションを通して機能回復ばかりではなく、人間らしく生きる権利の回復も図ることについて理解を深めることを目的とした講義を展開する。

内容

1	リハビリテーションの理念
2	リハビリテーションの目的と対象
3	リハビリテーションの組織
4	障害の受容過程とQOL
5	ライフサイクルとリハビリテーション
6	死別とグリーフワーク
7	子どものリハビリテーション 心身障害児の基礎知識
8	子どものリハビリテーション 脳性麻痺
9	子どものリハビリテーション 広汎性発達障害と学習障害
10	成人期・老年期の人のリハビリテーション 脳血管障害
11	成人期・老年期の人のリハビリテーション 寝たきりと廃用症候群
12	成人期・老年期の人のリハビリテーション 認知症
13	施設におけるリハビリテーション
14	地域におけるリハビリテーション
15	試験

評価

授業への参加状況(10点)、レポート(20点)、筆記試験(70点)により総合的に評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】硯川眞旬・橋本隆・大川裕行 編 『学びやすいリハビリテーション論』第2版 金芳堂

【推薦書】竹内孝仁編著 『リハビリテーション概論』 建帛社 494.79/T

佐々木日出男・津曲裕次監 『リハビリテーションと看護 その人らしく生きるには』 中央法規 492.9/R

科目名	リハビリテーション論		
担当教員名	久保田 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

学ぶことは「興味」から始まります。この授業では三つのねらいを段階的に進めて行きます。第一に、各関節の動きや筋肉の特性などを自分で体験することからはじめます。身をもって感じることによって、身体の不思議さ、素晴らしさを実感し、身体への「興味」を持ってもらいたいと思います。第二に、他者の動作や姿勢を観察するポイントを共に探りながら、相手の能力を引き出す介助方法や環境について自ら考えられるようになることめざします。第三に、個々人を多面的に捉え目標を定め、様々な職種がチームを組んでアプローチしていくリハビリテーションの考え方を理解し、福祉現場での支援に生かせるようになることをめざします。

#### 内容

1. 人間の身体とは(関節、筋肉、神経など)
2. 重力下で動くということ
3. 動作・姿勢のみかた
4. 障害別にみる動作・姿勢の特性
5. どこを介助するか
6. 環境によって異なる できる できない
7. 身体拘束を考える
8. リハビリテーションの考えかた
9. リハビリテーションの展開過程
10. 福祉現場でのリハビリテーション

#### 評価

期末テスト50点、平常点(小レポートなど)30点、出席点20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】必要に応じて随時プリントを配布する。

【推薦書】西本典良著 『動作を見る介護：リハビリテーションの応用で介護力を高める』 誠信書房

野尻晋一著 『リハビリテーションからみた介護技術』 中央法規 369.26/N

ペヤ・ハルヴォール・ルンデ著 『移動・移乗の知識と技術 援助者の腰痛予防と患者の活動性の向上を目指して』 中央法規 492.9/L

科目名	ジェンダーと福祉		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

少子高齢社会、人口減少社会となったわが国において、社会保障・社会福祉は、一部の恵まれない人々への恩恵ではなく、あらゆる人々が生活の安定・安心を実現するために、人生のどこかで関わり、利用するものとなっている。福祉の利用者や福祉サービスを担う人々のイメージも大きく変化した。その結果、社会全体の福祉観も変わりつつある。しかし、社会的文化的性差(ジェンダー)が生活問題の発生に影響していることは変わらない。ジェンダー視点をもって福祉の多様な側面を検討することにより、等身大の福祉社会のあり方を考える。

#### 内容

1	男女共同参画に関する政策と社会保障・社会福祉
2	社会福祉に関する政策・制度の変化とその影響
3	家族と労働の変化 - ワークライフバランス
4	児童の環境と出産・育児支援
5	母子・父子家庭の抱える問題
6	高齢者の自立と介護問題
7	障害者(児)の自立支援に関する問題
8	新たな貧困問題とホームレス
9	在日外国人の生活問題
10	売買春・セクハラ・DVの解決
11	福祉の仕事と教育
12	ボランティア・市民活動・NPOの役割
13	福祉を創りだした女性たち
14	男女共同参画と福祉社会のビジョン - 私のライフプランニングを通じて
15	レポートの報告と講評

#### 評価

出席および意見の発表・討議への参加態度(20点)、期末レポート(80点)とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書: 杉本貴代栄『ジェンダーで読む21世紀の福祉政策』有斐閣選書

推薦書: 春日キスヨ『介護とジェンダー』家族社 369.26/K

広井良典『持続可能な福祉社会』岩波新書 364/H

中西正司・上野千鶴子『当事者主権』岩波新書 369.1/N

杉本貴代栄『女性化する福祉社会』勁草書房

杉本貴代栄『ジェンダーで読む福祉社会』有斐閣選書 369/S

科目名	ユニバーサルデザイン論		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

情報社会が発展すればするほど、高齢者や障害者を取り残されてしまう、デジタルデバインドと言われる現象が問題になってくる。それゆえに、情報弱者となりやすいユーザのために、情報環境を整備する必要がある。そこで、本科目では、マウスやキーボードの使い方などについて、わかりやすく説明するマニュアルを作成したい。

コンピュータを使う人間に重きを置き、コンピュータを使う人間にとってわかりやすい表現をするためには、まず人間特に心理過程について知らなければならない。そこで、人間の心理過程とコンピュータを徹底的に比較、考察したい。さらに、なぜ、コンピュータを使うことが難しいのか、考察したい。最後に、わかりやすく楽しい、具体的なマニュアルを作成したい。

#### 内容

##### 1.オリエンテーション

##### 2.ヒューマンエラー

コンピュータを使っているときの人間のエラーについて、考察する。

##### 3.わからないのは誰のせい?

わかりにくいとはどういうことか、考察する。コンピュータがわからないときに、ユーザが自分の責任にしがちである現状について、考察する。

##### 4.メニュー、アイコン、専門用語

専門用語、アイコン、メニューのわかりにくさについて、考察する。

##### 5.学習

コンピュータの学習過程において起こりがちな、停滞現象について考察する。

##### 6.マニュアルの作成

マウスやキーボードの使い方をわかりやすく説明する方法について考察し、マニュアルを作成する。

##### 7.まとめ

#### 評価

毎回提出してもらうレポート、150点満点(15回X10点満点)で、90点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	ボランティア論		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするために、ボランティア活動は意義がある。それは、人間が共に豊かに生きていく市民社会の構築につながるものである。

本論は、社会福祉の視点からボランティアコーディネーションのあり方について学習し、自らがボランティアコーディネーターとして実践に臨む基本的な力を養うことをねらいとする。

## 内容

1	ボランティアについて
2	ボランティアをする、される - 関係性について
3	ボランタリズムの根底にあるもの
4	ボランティア活動の歴史的経緯と現状
5	ボランティア活動の役割について
6	ボランティア学習について
7	ボランティア活動プログラムについて
8	ボランティア活動実践から学ぶ
9	ボランティアセンター機能について
10	ボランティアコーディネーションについて
11	ボランティアコーディネーションについて
12	ボランティアコーディネーションについて
13	ボランティアマネジメントについて
14	ボランティアマネジメントについて
15	ボランティアマネジメントについて

## 評価

出席(毎回行う授業に対する評価カードの提出)及び授業態度(30点)、レポート(70点)

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

講義においてプリントを配布。

### 【推薦図書】

岡本栄一・菅井直也・妻鹿ふみ子編者 『学生のためのボランティア論』社会福祉法人大阪ボランティア協会出版部

岡本栄一監修 守本友美・河内昌彦・立石宏昭編著 『ボランティアのすすめ基礎から実践まで』 ミネルヴァ書房

科目名	NPO論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

多様な生活問題の解決にあたってNPO(民間非営利団体)への期待は大きい。統計などによって見えている部分のごくわずかであるということから「氷山のようなセクターである」といわれた民間非営利領域、およびその主体であるNPOについて、さまざまな議論や研究が展開しつつある。福祉分野のNPOに限定せず、多様なNPOを対象に、現在の私たちの社会におけるNPOの実態と可能性を検討する。講義だけでなく、受講生全体の参加による議論・検討を重視したい。

内容

1	生活主体と公共私領域
2	NPO(民間非営利組織)と非営利革命
3	NPOセクターの国際比較
4	ミッションとプロフィット
5	わが国のNPOを取り巻く制度と環境
6	NPOの活動事例 - 教育・文化・スポーツの分野
7	NPOの活動事例 - 医療・福祉の分野
8	NPOの活動事例 - 地域振興・環境問題の分野
9	NPOの活動事例 - 人権・平和・国際協力の分野
10	NPOの活動事例 - NPOの支援を行なうNPO
11	NPOの多様性とその課題
12	NPOにおける寄付とボランティア
13	NPOのマネジメント
14	NPOの展開と可能性
15	レポート報告と講評

評価

出席および事例発表等への参加態度(20点)、期末レポート(80点)とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書: NPO研究フォーラム『NPOが開く新世紀』清文社 335.8/N

山内直人編『NPOデータブック』有斐閣 335.8/Y



科目名	レクリエーション論		
担当教員名	菅野 清子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

レクリエーションの中で行われるさまざまな遊びや活動、それによってもたらされる「楽しさ」は、人々の成長や生きがい、人と人のつながりなど、とても多くのものを創り出します。また、レクリエーションを意図的に活用することで、人々はいきいきと生きがいを感じながら生きることができます。

今、レクリエーションは、健康づくりや高齢者・障害者福祉・子育て支援・保育・教育・地域づくり・環境教育など幅広い領域で取り入れられています。そうした中、対象者の主体性を尊重した姿勢など、レクリエーション支援の重要性を理解し、身近な人びとを支援する活動・事業を考え、現場で必要となるコミュニケーション技術や援助法など、実践を取り入れながら学んでいきます。

#### 内容

##### 1. レクリエーションの基礎理論

- (1) レクリエーションの意義 レクリエーションとは何か・・・
- (2) レクリエーション運動の歴史とその背景
- (3) レクリエーション制度

##### 2. レクリエーション支援論

- (1) ライフスタイルとレクリエーションの意義
- (2) 少子化の課題とレクリエーション
- (3) 地域とレクリエーション

##### 3. レクリエーション事業論

- (1) レクリエーション事業の考え方
- (2) レクリエーション事業の展開方法
- (3) プログラムの組み立て方

##### 4. コミュニケーション・ワーク

- (1) レクリエーションにおけるホスピタリティ
- (2) 非言語コミュニケーション
- (3) アイスブレイキングの意義

##### 5. レクリエーション・ワークの重要性

- (1) 目的や対象に合わせたレクリエーション・ワーク
- (2) 素材・アクティビティの選択

#### 評価

出席(40)点 ペーパーテスト(60)点、他、授業態度、ふりかえりシートにより評価 60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】(財)日本レクリエーション協会 『レクリエーション支援の基礎』

【推薦書】川延宗之著 他 『新版 レクリエーション援助法』 建帛社  
『第3版レクリエーション活動援助法』 中央法規

その他 参考書は適宜紹介します。

科目名	地域と生活		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

生活の基本単位である家族・世帯を主体とする私的生活領域から、公領域、企業領域、民間非営利領域が展開する場としての地域社会を考える。今年度は、特に地域自治組織に重点をおいて講義をすすめたい。さらに日常生活における共同・協同関係をつくること、コミュニティ形成や地域活性化につながることの現代的意味を学ぶ。活動事例の検討においては、学生自身が身近な地域への理解と関心を深めることをめざす。

内容

1	現代社会におけるコミュニティ
2	コミュニティをめぐる論議
3	家族・世帯と地域
4	生活領域とその主体
5	地域社会の構成員としての各種団体
6	伝統的コミュニティの特徴
7	現代のコミュニティの特徴
8	地域自治組織の多面性と現状
9	地域自治組織の事例検討
10	地域自治組織の事例検討
11	コミュニティをめぐる新たな動き - エコマネー
12	コミュニティをめぐる新たな動き - コミュニティビジネス
13	コミュニティをめぐる新たな動き - ふるさと資源とソーシャルキャピタル
14	地域活性化とコミュニティ
15	レポート報告と講評

評価

出席と事例発表等の受講態度(20点)、期末のレポート(80点)とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書: 加藤利春 『エコマネーはマネーを駆逐する』 勁草書房 2002 337/K

細内信孝 『みんなが主役のコミュニティビジネス』 ぎょうせい 2006 335.8/H

林良博・高橋弘・生現寺眞一 『ふるさと資源の再発見』 家の光協会 2005 611.1/H

科目名	人間福祉特論 A		
担当教員名	片居木 英人、大山 博幸、佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.3年次までに学習してきた社会福祉全般にわたる専門用語や概念の体系的な整理に努める。
- 2.1を踏まえ、最新の社会福祉の動向や法行財政「改革」の意味を的確に把握できる認識力の形成に努め、また、社会福祉士国家試験受験対策にも資するよう学習内容の確認や点検を重ねていく。

#### 内容

- 1.社会福祉全般にわたり、各領域ごとに最新の社会福祉の動向や法改正・行財政の焦点を押さえる。
- 2.1を踏まえつつ、社会福祉の専門用語や概念の体系的な整理を行う。
- 3.実戦的な学習内容の確認・点検等の方法を意欲的に取り入れながら、社会福祉全般にわたる知識の習得や理解を深める。

#### 評価

出席状況、課題達成状況などを総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書等については、授業を通じ、随時、紹介する。

科目名	人間福祉特論 B		
担当教員名	片居木 英人、大山 博幸、佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.前期の人間福祉特論Aをさらに展開し、社会福祉全般にわたる専門用語や概念の体系的な整理に努める。
- 2.1を踏まえ、最新の社会福祉の動向や法行財政「改革」の政策的意味を的確に把握できる認識力の形成に努める。
- 3.社会福祉士国家試験受験対策にも資するよう、これまでの学びの成果をさらに実戦的に整理・点検し、社会福祉の体系的な理解を確かなものにするよう努める。

#### 内容

- 1.社会福祉の各領域ごとに、専門用語や概念の体系的な整理を重ねていく。
- 2.実戦的方法を通じて、重ねられた専門用語や概念の体系的な整理を確かなものにしていく。
- 3.4年間の学びの集大成として、「社会福祉とは何か」「介護福祉とは何か」「人間福祉とは何か」を自らに問いかけ、今後もさらに考え続けていけるよう、その意欲と姿勢を確かなものにしていく。

#### 評価

出席状況、課題達成状況などを総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書等については、授業を通じ、随時、紹介していく。

科目名	居住福祉論		
担当教員名	藤井 敏信		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

第一に、居住や居住環境の考え方を学ぶ。第二に、国内外の各地で進展している福祉を中心とした地域づくりについて、コミュニティ活動を基礎とした自立的な居住環境の開発・整備や、これらの連携によるネットワーク的な展開を行う事例を収集・比較し、それぞれの基礎的な特性、課題を比較・分析する。

## 内容

内容としては次の10の項目について触れる。

1. 居住の考え方
2. 世界の居住
3. 福祉と居住
4. 居住環境の類別
5. 住宅政策と福祉
6. 世界の住宅政策と福祉
7. 日本の地域づくり
8. アジアの地域づくり
9. 西欧の地域づくり
10. 居住福祉の可能性

## 評価

出席40点、レポート60点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	福祉コミュニケーション		
担当教員名	斉川 富夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- ( 1 ) コミュニケーションの多様なあり方について学ぶ。
- ( 2 ) 理性的・論理的になれることと共感能力(共感できる心)とが、共に大切なことを学ぶ。
- ( 3 ) 芸術表現についての研究に学びながら、人間・存在の深味について考えてみる。

内容

1	授業の概要
2	コミュニケーションの歴史
3	話し言葉のコミュニケーションと文字のコミュニケーション
4	印刷術の発明ー文字の広がり
5	近代社会とマスコミの形成
6	現代社会とマスコミの問題
7	文字の広がりとは知性優位のコミュニケーション
8	知性優位の時代ー視覚中心の時代
9	視覚と触覚ー欧米と日本の比較
10	日本人の国民性ー日本的コミュニケーション
11	共感的コミュニケーション
12	理性的コミュニケーション
13	コミュニケーションと葛藤
14	共生のためのコミュニケーション
15	福祉とコミュニケーション

評価

- ・ペーパーテストと出席によって評価する。
- ・テストの成績で65%、出席点に35% 配点する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	乳幼児・児童の心理学		
担当教員名	星 三和子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

乳幼児期は人生の基礎ができる大事な時期である。この時期の急速な変化が示す「人になっていく」過程は、私たちに人間の面白さを充分味わわせてくれる。このような発達のいくつかの側面について学び、乳幼児期が人の一生のなかでどんな意味をもつかを共に考えたい。またこの授業を子どもに対する理解や臨床活動のための基礎知識として役立ててほしい。

#### 内容

できるだけ図、資料、映像を用いて、わかりやすい授業をしたい。

1. 乳幼児期の人生における意味
2. 新生児の能力
3. 身体と運動の発達
4. 個性の発生
- 5-6. 愛着と親子関係
7. 他者との関係の発達
- 8-9. 「自己」への気づき
- 10-11. 情緒と感情の発達
12. 言語とコミュニケーションの関係
13. 遊びと想像性
14. 年齢別のまとめ
15. 試験

#### 評価

期末試験(50点)、授業時のレポート(30点)および授業時の積極的な討論参加(20点)。合格点60点。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】繁多進「乳幼児発達心理学」福村出版

岡本夏木「子どもとことば」岩波新書

【推薦書】柏木恵子他「新版発達心理学への招待」ミネルヴァ書房 2005

岡本夏木「幼児期」岩波新書



科目名	障害者の心理学		
担当教員名	田畑 光司		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

臨床心理学、発達心理学、学習心理学の立場から、障害のある人の知能、言語、認知、情緒、社会性、行動などの特性を理解することを目的とする。障害は、その人と家族にとっては、生涯にわたり影響をおよぼすものであるから、ライフサイクルの視点から見てゆく。

障害の定義・原因・診断法(早期)を学習した上で、さまざまな障害における心理学的特性を学習する。さらに障害のある子どもや大人に心理検査を実施する場合の基本について学習する。また障害に起因するさまざまな問題行動のメカニズムや対応についても学ぶ。発達障害にとどまらず、精神障害や難病、中途障害など広汎に取り上げてゆく予定である。臨床例の紹介や映像資料の提供もしたい。

内容

1	はじめに 障害児・者の心理学とは 障害の定義
2	視覚障害の心理と特性
3	聴覚障害の心理と特性
4	知的障害の心理と特性
5	運動障害の心理と特性
6	病弱・難病の心理と特性
7	言語障害の心理と特性
8	精神障害の心理と特性
9	重複障害の心理と特性
10	中途障害の心理と特性
11	知能検査と障害児・者
12	発達検査と障害児・者
13	性格検査と障害児・者
14	まとめ
15	テスト

評価

授業への出席状況を15点、学期末の試験を85点として60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定しない。必要に応じて参考図書を紹介する。

科目名	障害者の心理学		
担当教員名	田畑 光司		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

臨床心理学、発達心理学、学習心理学の立場から、障害のある人の知能、言語、認知、情緒、社会性、行動などの特性を理解することを目的とする。障害は、その人と家族にとっては、生涯にわたり影響をおよぼすものであるから、ライフサイクルの視点から見てゆく。

障害の定義・原因・診断法(早期)を学習した上で、さまざまな障害におけるそれぞれの心理学的特性を学習する。さらに障害のある子どもや大人に心理検査を実施する場合の基本について学習する。また障害に起因するさまざまな問題行動のメカニズムや対応についても学ぶ。発達障害にとどまらず、精神障害や難病、中途障害など広汎に取り上げてゆく予定である。臨床例の紹介や映像資料の提供もしたい。

内容

1	はじめに 障害児・者の心理学とは 障害の定義
2	視覚障害の心理と特性
3	聴覚障害の心理と特性
4	知的障害の心理と特性
5	運動障害の心理と特性
6	病弱・難病の心理と特性
7	言語障害の心理と特性
8	精神障害の心理と特性
9	重複障害の心理と特性
10	中途障害の心理と特性
11	知能検査と障害児・者
12	発達検査と障害児・者
13	性格検査と障害児・者
14	まとめ
15	テスト

評価

授業への出席状況を15点、学期末の試験を85点として60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定しない。必要に応じて参考図書を紹介する。

科目名	カウンセリング論		
担当教員名	鷓木 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

カウンセリングとは、「心理的援助の理論と技術に習熟したセラピストが、心理面での問題に直面しているクライアント（相談者）に対して、面接によってその問題解決を援助する営み」と定義される。その援助方法・理論には、様々な種類があるが、どのアプローチにおいても重要視されていることは、セラピストとクライアントとの信頼関係をもとに、クライアントの自律性・人間的能力を促進することである。

本授業では、まずセラピストが理解しておくべき基本的な姿勢や面接場面の設定の仕方を学んだ上で、臨床現場で用いられることの多い代表的なアプローチ方法の理論、技法について理解を深める。適宜、ロールプレイなどの演習を行う予定である。

内容

1	カウンセリングの基本を学ぶ(1)
2	カウンセリングの基本を学ぶ(2)：エンカウンターグループの実践
3	カウンセリングの過程を学ぶ
4	カウンセラーの役割
5	カウンセリングにおける倫理
6	マイクロカウンセリング技法(1)
7	マイクロカウンセリング技法(2)
8	マイクロカウンセリング技法(3)
9	マイクロカウンセリング技法(4)
10	コラージュ療法の実践
11	コラージュの説明・事例
12	箱庭療法の説明・事例
13	自律訓練法の実践
14	まとめ
15	試験

評価

出席状況(15点)、授業中の提出物(35点)、期末試験(50点)を評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考書】斎藤敦子著「ワークブック カウンセリングを学ぶ」 医学書院

科目名	中高年の心理学		
担当教員名	川元 克秀		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

現在の我が国には、さまざまな不利益を被りながら生活している人々が存在する。その不利益の原因は、経済的なものであったり、何らかの障害を心身に持つことであったり、特定の視点から見た場合に少数派であることであったりと多様である。

本科目は、このような前提にたち、1) 高齢期に特徴的な変化が社会的な不利益に結びつく構図とはどのようなものであるのか? 2) そのような不利益を被りながら生活する高齢者本人はどのような想いをもちながら生活しているのか? 3) 社会的な不利益を被りがちな高齢者に対して我々が専門家としてまた市民として成し得ることは何なのか? の3点について学習することを目的とする。

#### 内容

我が国で起きているさまざまな「高齢者に関連した社会問題」を題材として、その内容に対する自らの有り様について考えることから、学習をスタートする。学習は、まず、題材に関するグループワークの形式により行う。次に、グループワークにより得た「気づき」を前提に、関連した基礎知識・専門知識を講義形式により学習する。

学習題材としての「社会問題」は、

- (1) 高齢者への虐待の現実(第2週～第4週)
- (2) 認知症高齢者の問題行動の現実(第5週～第7週)
- (3) 比較的健康な高齢者な社会的孤立の現実(第8週～第9週)
- (4) 要介護高齢者の介護家族のストレスと介護危機(第10週～第12週)の現実
- (5) 老人クラブ活動などを通じた高齢者の社会関係と生きがいの現実(第13週～第14週)

などを取り上げる。

#### 評価

平常点とレポートにより評価する。平常点とは、講義前の『各自の下調べ(事前学習)』の状況や、講義中の『グループワークへの取り組み姿勢』や、題材として提供した内容に関する『真摯な向き合いの態度』により評価する。すなわちこの平常点とは、『居眠りをしながら、そこにいるだけの出席』を意味しない。表面的な「出席」では、場合によっては平常点をゼロとする。レポートとは、講義最終回にその場で作成・提出を求める小論文を指す。レポートは、講義で学習・検討した問題や知識への習熟を問う内容とする。なお、配点は、平常点(出席)を60点、小論文を40点とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

使用しない。

科目名	中高年の心理学		
担当教員名	遠藤 忠		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

心理学は“行動の科学”であり、行動の法則を明らかにするとともに、その応用をめざすものである。本科目は生涯発達心理学の観点から、人間の発達過程を主に中年期以降から概観するとともに、人間の生涯(主に中年期以降)において生じる心の変化を、心理学の様々な理論、研究成果から解説する。特に、高齢者の心理学的特徴について詳細に解説していく。

#### 内容

1	1. 授業ガイダンス、“心理学とは? ”、“人生(生涯発達過程)における区分について”
2	2. 中年期には、どのような問題が生じやすいのか?
3	3. 生涯発達の理論(中年期以降を中心に) - その1 -
4	4. 生涯発達の理論(中年期以降を中心に) - その2 -
5	5. 超高齢社会の到来 - 日本の少子高齢化の現状 -
6	6. “老いの意識”はいつ芽生えるのか? - 老性自覚について -
7	7. 老年期の感覚・知覚・認知
8	8. 老年期の記憶
9	9. 老年期の知能
10	10. 「幸福な老い」とは? - サクセスフル・エイジングについて -
11	11. 老年期の適応
12	12. 高齢者にとっての“死”について
13	13. 老年期の精神的老化と精神障害
14	14. 高齢者を対象とした心理療法
15	15. 高齢者介護について

#### 評価

出席30点、ペーパーテスト60点及びレポート10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	家族心理学		
担当教員名	松田 英子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

少子化、晩婚化、非婚化などの社会現象から、家族の単位や関係性にも変化がみられています。現代家族を心理学という観点から捉えるために、まず家族システム理論という考え方を理解します。また家族は数十年にわたり、メンバーの構成も役割も変化しつづけるため、家族の発達についても理解をすすめていきます。特に子どもを持つ家庭への支援について、スクールカウンセリングの視点から解説する。さらに幼児・児童虐待やドメスティックバイオレンスに代表される家族内で生じる心理的問題への支援法について考えていきます。以上の3点を本講義のねらいとします。

内容

1	イントロダクション・家族をシステムとして捉える
2	家族を理解するための概念・ジェノグラム
3	家族の発達 1 独身期と新婚期
4	家族の発達 2 親として乳幼児を育てる時期
5	家族の発達 3 児童期の子どもとその家族 事例：スクールカウンセリング
6	家族の発達 4 思春期の子どもとその家族 事例：摂食障害
7	家族の発達 5 青年期の子どもとその家族 事例：非行
8	家族の発達 6 老年期の家族 事例：対象喪失
9	家族を支援するための方法・家族療法
10	家族と臨床的問題 1 夫婦関係の危機と援助
11	家族と臨床的問題 2 子育てをめぐる問題と援助 事例：虐待
12	家族と臨床的問題 3 家族が経験するストレスと援助
13	家族と臨床的問題 4 家族内のコミュニケーション
14	家族と臨床的問題 5 女性・男性と家族
15	総括・定期試験

評価

定期試験の評価(70%)、各テーマごとに出题される小レポートを出席点(30%)として、総合評価を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書

中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子 『家族心理学 家族システムの発達と臨床的援助』 有斐閣 2008年 初版

科目名	演習		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書の紹介や資料の配布を行なう。

科目名	演習		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書を紹介や資料の配布を行なう。



科目名	演習		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書を紹介や資料の配布を行なう。

科目名	演習		
担当教員名	斉川 富夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書を紹介や資料の配布を行なう。

科目名	演習		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書の紹介や資料の配布を行なう。

科目名	演習		
担当教員名	中村 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書の紹介や資料の配布を行なう。

科目名	演習		
担当教員名	丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書の紹介や資料の配布を行なう。

科目名	演習		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書を紹介や資料の配布を行なう。

科目名	演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	01クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書の紹介や資料の配布を行なう。

科目名	演習		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書を紹介や資料の配布を行なう。



科目名	演習		
担当教員名	栗原 直樹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめである卒業研究(4年次)の準備段階として、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら、探求する。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して

研究テーマを見出し、焦点化する

研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む

その成果をもって4年次の卒業研究につなげる

#### 評価

日頃の学習活動、レポート内容などを総合的に判断して行なう。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員がゼミを通して、参考図書の紹介や資料の配布を行なう。

科目名	卒業研究		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

## 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
 研究テーマを見だし、焦点化する  
 研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
 論文にまとめる

## 評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名	伊藤 わらび		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
 研究テーマを見だし、焦点化する  
 研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
 論文にまとめる

#### 評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
研究テーマを見だし、焦点化する  
研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
論文にまとめる

#### 評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
 研究テーマを見だし、焦点化する  
 研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
 論文にまとめる

評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名	斉川 富夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
 研究テーマを見だし、焦点化する  
 研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
 論文にまとめる

#### 評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

## 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
 研究テーマを見だし、焦点化する  
 研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
 論文にまとめる

## 評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名	中村 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
 研究テーマを見だし、焦点化する  
 研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
 論文にまとめる

#### 評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。



科目名	卒業研究		
担当教員名	西澤 喜代美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
 研究テーマを見だし、焦点化する  
 研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
 論文にまとめる

#### 評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	01クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
研究テーマを見だし、焦点化する  
研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
論文にまとめる

評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名	丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

#### 内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
 研究テーマを見だし、焦点化する  
 研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
 論文にまとめる

#### 評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	卒業研究		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学における人間福祉の学びの総まとめとして、自らの興味と関心によって自主的に設定したテーマについて、指導教員の指導を得ながら探求し、その成果を個々の学生が卒業研究としてまとめる。

内容

グループ形式のゼミあるいは個別の指導を通して、  
研究テーマを見だし、焦点化する  
研究テーマにふさわしい研究方法を探究し、考察を進め、必要によっては実践的活動に取り組む  
論文にまとめる

評価

提出された卒業研究と日頃の学習活動、レポート等の内容などを総合的に判断して行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各教員が授業を通して、参考図書の紹介や資料の配布を行う。

科目名	家政学概論		
担当教員名	山口 典子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活の福祉を考えるうえで、その根底にあるものは家政学である。家政学の定義は、次の通りである。「家政学は、家庭生活を中心とした人間生活における人と環境との相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。」このことより、福祉を学ぶ学生にとって家政学は不可欠な学問である。家政学を概観し、身につけることにより、日常の生活を充実させていくための総合的な視点と思考力を養う。

#### 内容

##### [ 家庭生活 ]

##### 1. 家庭生活の基礎知識

個人と家族生活

家庭生活とその経営

生活時間

家事労働

生活設計 1

生活設計 2

##### 2. 高齢者・障害者の家庭生活の特徴と問題点

高齢者の家庭生活

障害者の家庭生活

##### [ 衣生活 ]

##### 1. 衣生活の基礎知識

被服の機能

被服の素材

被服と衛生

被服の選択と管理

##### 2. 介護と衣生活

高齢者の衣生活

障害者の衣生活

期末テスト

#### 評価

期末テスト50点 平常点30点

出席点20点

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】責任編集 酒井豊子 「家政概論」 メヂカルフレンド社

科目名	家政学概論		
担当教員名	山口 典子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活の福祉を考えるうえで、その根底にあるものは家政学である。家政学の定義は、次の通りである。「家政学は、家庭生活を中心とした人間生活における人と環境との相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。」このことより、福祉を学ぶ学生にとって家政学は不可欠な学問である。家政学を概観し、身につけることにより、日常の生活を充実させていくための総合的な視点と思考力を養う。

#### 内容

##### [ 家庭生活 ]

- 家族と家庭生活
- 生活設計
- 家事労働と介護労働
- 家庭経済
- 高齢者・障害者の経済生活

##### [ 食生活 ]

- 食生活と健康
- 栄養素の働きと消化吸収
- 食品の成分
- 高齢者・障害者の食生活

##### [ 衣生活 ]

- 人間と被服
- 被服材料・管理
- 高齢者・障害者の被服生活

##### [ 住生活 ]

- 生活環境と環境問題
- 住まいの役割と機能および高齢者・障害者の住生活
- 期末テスト

#### 評価

- 期末テスト50点 平常点30点
- 出席点20点

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】編集代表 硯川眞旬 『学びやすい家政学概論』 金芳堂

科目名	医学一般		
担当教員名	高世 秀仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年、急激に高齢化社会がすすみ、疾病構造の変化がおり、医療の政策、対策が変化している。高齢化社会では、福祉分野の充実が望まれるが、健康、病気、老化に関する医学知識は必須である。

本講座のねらいは、福祉・介護の現場に必要な医学の知識を学び、自分の健康について関心を持ち、よりよい対人援助ができる人材を育てることにある。

#### 内容

1. 医学概論
2. 人体構造と機能
3. 代表的な疾患
4. 精神障害、精神保健
5. リハビリテーション医療
6. 公衆衛生の現状
7. 保健医療対策
8. 医事法制と保健・医療機関および専門職

#### 評価

出席40点、ペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】福祉士養成講座編集委員会 『医学一般』 中央法規



科目名	家政学概論		
担当教員名	山口 典子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

人間生活の福祉を考えるうえで、その根底にあるものは家政学である。家政学の定義は、次の通りである。「家政学は、家庭生活を中心とした人間生活における人と環境との相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。」このことより、福祉を学ぶ学生にとって家政学は不可欠な学問である。家政学を概観し、身につけることにより、日常の生活を充実させていくための総合的な視点と思考力を養う。

#### 内容

##### [ 家庭生活 ]

- 家族と家庭生活
- 生活設計
- 家事労働と介護労働
- 家庭経済
- 高齢者・障害者の経済生活

##### [ 食生活 ]

- 食生活と健康
- 栄養素の働きと消化吸収
- 食品の成分
- 高齢者・障害者の食生活

##### [ 衣生活 ]

- 人間と被服
- 被服材料・管理
- 高齢者・障害者の被服生活

##### [ 住生活 ]

- 生活環境と環境問題
- 住まいの役割と機能および高齢者・障害者の住生活
- 期末テスト

#### 評価

- 期末テスト50点 平常点30点
- 出席点20点

#### 教科書・推薦書( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】編集代表 硯川真旬 『学びやすい家政学概論』 金芳堂

科目名	福祉住環境論		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

わが国の総人口は、2000年には約1億2千7百万人に達し、そのうちの約17%が65歳以上の高齢者である。今後急速に少子高齢化が進展することはよく知られるところであるが、少子高齢化社会の到来は、年金、雇用、医療、保険等、生活のあらゆる場面での多くの問題を抱えている。このような変革の時代に高齢者や障害者が地域社会で自立した生活を継続できるように社会全体で支援することが重要となることは疑う余地がない。高齢者や障害者が自立した生活をおくるために、その重要な課題のひとつに生活拠点としての住宅の問題がある。

本演習では、超高齢社会の到来を踏まえて、日本の住宅の抱える問題点を考え、住環境整備を進めるための基礎知識や基礎技術について理解を深めるものである。

但し、モデルの制作などを行うため、人数に制限あり。

#### 内容

1. 高齢化社会と住環境整備
  2. 社会福祉と住環境整備の考え方
  3. 高齢者の心身の機能と特性
  4. 高齢者に対する諸関連施策とサービス
  5. 福祉住環境整備の進め方
  6. 福祉住環境整備の基礎知識
  7. 福祉住環境整備の基礎技術
  8. 福祉住環境整備の手法
  9. 関連専門職への理解と連携
- 等々

#### 評価

出席30点、及び課題、随時のテスト等による評価70点により行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【参考図書】『福祉住環境コーディネーター検定試験(3級テキスト)』

その他、授業の中で適時参考文献を配布、紹介する。

科目名	レクリエーション援助法		
担当教員名	菅野 清子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

レクリエーションの中で行われるさまざまな遊びや活動、それによってもたらされる「楽しさ」は、人々の成長や生きがい、人と人のつながりなど、とても多くのものを創り出します。また、レクリエーションを意図的に活用することで、人々はいきいきと生きがいを感じながら生きることができます。

今、レクリエーションは、健康づくりや高齢者・障害者福祉・子育て支援・保育・教育・地域づくり・環境教育など幅広い領域で取り入れられています。そうした中、対象者の主体性を尊重した姿勢など、レクリエーション支援の重要性を理解し、身近な人びとを支援する活動・事業を考え、現場で必要となるコミュニケーション技術や援助法など、実践を取り入れながら学んでいきます。

#### 内容

##### 1. レクリエーションの基礎理論

- (1) レクリエーションの意義 レクリエーションとは何か・・・
- (2) レクリエーション運動の歴史とその背景
- (3) レクリエーション制度

##### 2. レクリエーション支援論

- (1) ライフスタイルとレクリエーションの意義
- (2) 少子化の課題とレクリエーション
- (3) 地域とレクリエーション

##### 3. レクリエーション事業論

- (1) レクリエーション事業の考え方
- (2) レクリエーション事業の展開方法
- (3) プログラムの組み立て方

##### 4. コミュニケーション・ワーク

- (1) レクリエーションにおけるホスピタリティ
- (2) 非言語コミュニケーション
- (3) アイスブレイキングの意義

##### 5. レクリエーション・ワークの重要性

- (1) 目的や対象に合わせたレクリエーション・ワーク
- (2) 素材・アクティビティの選択

#### 評価

出席(40)点 ペーパーテスト(60)点、他、授業態度、ふりかえりシートにより評価 60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】(財)日本レクリエーション協会 『レクリエーション支援の基礎』

【推薦書】川延宗之著 他 『新版 レクリエーション援助法』 建帛社

『第3版 レクリエーション活動援助法』 中央法規

その他 参考書は適宜紹介します。

科目名	社会福祉の歴史		
担当教員名	栗原 直樹		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.現代社会における多様な社会福祉制度の諸原理や基礎概念を、その背後にある価値の問題とともに把握し、社会福祉が現代社会に存在する意味を考えます。
- 2.社会福祉に関して欧米及び日本の歴史について理解するとともに、社会福祉の理念と意義について理解します。
- 3.社会福祉の法体系及び実施体制を理解するとともに、福祉需要の動向について理解します。
- 4.適宜、タイムリーな話題、事例を引用して身近な内容とします。

内容

1	生活と社会福祉	日々の生活と社会福祉のあり方について解説します。
2	現代社会と社会福祉	社会福祉の概念、範囲について解説します。
3	社会福祉の歴史：イギリス	社会福祉の発祥について解説します。
4	社会福祉の歴史：アメリカ	アメリカにおける発展について解説します。
5	社会福祉の歴史：日本 1	日本における前近代、近代の状況について解説します。
6	社会福祉の歴史：日本 2	日本における近代から戦後にかけての状況を解説します。
7	社会福祉の歴史：日本 3	日本における戦後から現在に至る状況について解説します。
8	社会福祉の歴史：日本 4	日本における現代の課題について解説します。
9	ソーシャルワーク	ソーシャルワークの実際について解説します。
10	公的責任と行財政	社会福祉の実施責任と費用の関係について解説します。
11	社会福祉の実施体制	地方自治体の実施体制について解説します。
12	ジェンダーと社会福祉	男女間格差の状況について解説します
13	社会福祉サービスと従事者	実際の現場で働く専門職の状況について解説します。
14	全体の振り返り	
15	試験	

評価

筆記試験(60点)レポート(40点)とし、60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 社会福祉の原理と思想 有斐閣

【推薦書】 厚生労働白書

【参考図書】 社会福祉小六法 ミネルヴァ書房

科目名	相談援助演習		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントをはじめとする各社会福祉援助技術によってなされるその専門的援助行為は、利用者と援助者との人間的な関係性に規定されることとなる。ここに対人援助の専門職(helping profession)といわれる福祉実践の特質がある。それゆえ将来福祉職を目指す学生は、専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これら対人関係を築き生きていく力を形成することとは、他者への十分な理解及び自分自身への理解(自己覚知)をそれぞれ広げ深めていく力であると言い換えられる。本授業では福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくに必要な学生自身の自己覚知を広げ深めていくことをねらいとする。

内容

1	オリエンテーション
2	相談援助、専門的援助関係の意味
3	援助者の自己概念と自己覚知:
4	自己概念の気づきのワーク1: Who I am?など
5	自己概念の気づきのワーク2: 自己紹介、他者紹介など
6	自己概念の気づきのワーク4: ライフライン、ライフラインなど
7	自己覚知と価値観、他者理解
8	他者理解とかかわりのワーク: コミュニケーションとは
9	他者理解とかかわりのワーク: コミュニケーションと身体など
10	専門的援助関係における自己覚知の意義: 自己の活用について
11	基本的面接技術1: 基本姿勢、基本的態度
12	基本的面接技術2: マイクロカウンセリングにおける傾聴の技法、かかわり技法など
13	基本的面接技術3: あいづち、言い換え(リフレクション)、適切な質問など
14	基本的面接技術4: フィードバック、意味への応答
15	まとめ、整理

評価

出席もしくは授業中のミニレポート40点、最終レポートもしくは試験60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

山田容『ワークブック社会福祉援助技術演習1 対人援助の基礎』ミネルヴァ書房

科目名	相談援助演習		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントをはじめとする各社会福祉援助技術によってなされるその専門的援助行為は、利用者と援助者との人間的な関係性に規定されることとなる。ここに対人援助の専門職(helping profession)といわれる福祉実践の特質がある。それゆえ将来福祉職を目指す学生は、専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これら対人関係を築き生きていく力を形成することとは、他者への十分な理解及び自分自身への理解(自己覚知)をそれぞれ広げ深めていく力であると言い換えられる。本授業では福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくに必要な学生自身の自己覚知を広げ深めていくことをねらいとする。

内容

1	オリエンテーション
2	相談援助、専門的援助関係の意味
3	援助者の自己概念と自己覚知:
4	自己概念の気づきのワーク1: Who I am?など
5	自己概念の気づきのワーク2: 自己紹介、他者紹介など
6	自己概念の気づきのワーク4: ライフライン、ライフラインなど
7	自己覚知と価値観、他者理解
8	他者理解とかかわりのワーク: コミュニケーションとは
9	他者理解とかかわりのワーク: コミュニケーションと身体など
10	専門的援助関係における自己覚知の意義: 自己の活用について
11	基本的面接技術1: 基本姿勢、基本的態度
12	基本的面接技術2: マイクロカウンセリングにおける傾聴の技法、かかわり技法など
13	基本的面接技術3: あいづち、言い換え(リフレクション)、適切な質問など
14	基本的面接技術4: フィードバック、意味への応答
15	まとめ、整理

評価

出席もしくは授業中のミニレポート40点、最終レポートもしくは試験60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

山田容『ワークブック社会福祉援助技術演習1 対人援助の基礎』ミネルヴァ書房

科目名	相談援助演習		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 高等学校教諭一種免許状(福祉)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

ソーシャルワークやケアワーク、ケアマネジメントをはじめとする各社会福祉援助技術によってなされるその専門的援助行為は、利用者と援助者との人間的な関係性に規定されることとなる。ここに対人援助の専門職(helping profession)といわれる福祉実践の特質がある。それゆえ将来福祉職を目指す学生は、専門的援助関係の基礎となる対人関係そのものを築き、生きていく力を形成することが求められる。これら対人関係を築き生きていく力を形成することとは、他者への十分な理解及び自分自身への理解(自己覚知)をそれぞれ広げ深めていく力であると言い換えられる。本授業では福祉援助の専門的援助関係を学び、それを形成していくに必要な学生自身の自己覚知を広げ深めていくことをねらいとする。

内容

1	オリエンテーション
2	相談援助、専門的援助関係の意味
3	援助者の自己概念と自己覚知:
4	自己概念の気づきのワーク1: Who I am?など
5	自己概念の気づきのワーク2: 自己紹介、他者紹介など
6	自己概念の気づきのワーク4: ライフライン、ライフラインなど
7	自己覚知と価値観、他者理解
8	他者理解とかかわりのワーク: コミュニケーションとは
9	他者理解とかかわりのワーク: コミュニケーションと身体など
10	専門的援助関係における自己覚知の意義: 自己の活用について
11	基本的面接技術1: 基本姿勢、基本的態度
12	基本的面接技術2: マイクロカウンセリングにおける傾聴の技法、かかわり技法など
13	基本的面接技術3: あいづち、言い換え(リフレクション)、適切な質問など
14	基本的面接技術4: フィードバック、意味への応答
15	まとめ、整理

評価

出席もしくは授業中のミニレポート40点、最終レポートもしくは試験60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

山田容『ワークブック社会福祉援助技術演習1 対人援助の基礎』ミネルヴァ書房



科目名	基礎介護論		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 介護福祉を取り巻く状況が理解できる
- 介護福祉士の果たすべき領域が理解できる
- 介護を受ける利用者の願いや思いが理解できる

## 内容

- 1 オリエンテーション
- 2 介護福祉を取り巻く状況( ) 利用者の願い、思いに寄り添うとは
- 3 介護福祉を取り巻く状況(2) 介護の歴史 援助職の歴史
- 4 介護福祉を取り巻く状況(3) 介護問題の社会的背景 介護福祉士に期待あされている事
- 5 介護福祉士の役割りと機能を支える仕組み(1) 社会福祉士及び介護福祉士法の理解
- 6 介護福祉士の役割りと機能を支える仕組み(2) 介護福祉士の義務・業務・倫理
- 7 介護福祉士の役割りと機能を支える仕組み(3) 養成制度・専門職業団体
- 8 尊厳を支える介護(1) 人権と介護・ADLからQOL
- 9 尊厳を支える介護(2) ノーマライゼーションの歴史とその実現
- 10 尊厳を支える介護(3) 利用者主体の歴史とその実現
- 11 事例の提示
- 12 事例検討
- 13 発表・討論
- 14 まとめ
- 15 試験

## 評価

出席30% レポート20% 試験50%

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

介護福祉士養成講座編集委員会「新・介護福祉士養成講座 3巻介護の基本」中央法規出版

科目名	基礎介護論		
担当教員名	新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

介護を必要とする人が理解できる

介護を必要とする人の多様な背景やニーズが理解ができる

## 内容

### 1 オリエンテーション

2 人間の多様な暮らしの理解(1) 人間の「その人らしさ」を理解する

3 人間の多様な暮らしの理解(2) 生活史多様な価値観・を理解する

4 高齢者の暮らしの実際(1) 高齢者の暮らしを理解する

5 高齢者の暮らしの実際(2) 高齢期の多様なニーズを理解する

6 障害のある人の暮らしの実際(1) 障がいのある人の暮らしを理解する

7 障害のある人の暮らしの実際(2) 障がいのある人の多様なニーズを理解する

8 介護を必要とする人の生活環境の理解(1) 住環境・施設環境を理解する

9 介護を必要とする人の生活環境の理解(2) 地域社会とのかかわりを理解する

10 介護を必要とする人の生活環境の理解(3) 家族を理解する

11 事例提起

12 事例検討

13 事例検討・発表

14 まとめ

15 試験

## 評価

出席 30% レポート 20% 試験 50%

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

介護福祉士養成講座編集委員会「新・介護福祉士養成講座 4巻[介護の基本]」中央法規出版

科目名	コミュニケーション技術		
担当教員名	大山 博幸		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解する。

介護を必要とするものとの専門的援助関係の意義について理解し、その概要を説明することができること、また対話技法を中心とした積極的傾聴の技術と基本姿勢を理解し、積極的傾聴の基本技術を習得することを目的とする。

#### 内容

1	介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割
2	コミュニケーションモデルの概要
3	コミュニケーションの語用論
4	積極的傾聴と援助者の態度
5	援助者の気づきと洞察
6	転移、逆転移、投影性同一化
7	傾聴の技法
8	積極的技法
9	納得と同意を得る技法
10	意欲を引き出す技法
11	相談、助言、指導
12	利用者本人と家族の意向の調整を図る技法
13	感覚機能・運動機能が低下している人とのコミュニケーション
14	認知・運動機能が低下している人とのコミュニケーション
15	まとめと整理

#### 評価

出席もしくはミニレポート40点、最終レポート60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ポール・ワツラウィック『人間コミュニケーションの語用論』二瓶社

神田橋篠治『精神療法面接のコツ』岩崎学術出版社

グレゴリー・ベイトソン『精神の生態学』思索社

伊東博『身心一如のニュー・カウンセリング』誠信書房

科目名	生活支援技術概論		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちは「生活とは何か」について特に意識することなく、毎日を過ごしている。生活支援を理解するにあたり、最初に生活がどのような側面から構成されているかなど、「生活とは何か」を理解する必要がある。

人としての生活とは、単に生命を維持するためのものではなく、家族、地域や社会とかかわりを持ちながら、人間として尊厳のある暮らしをすることである。援助を必要な人にとって、人間として尊厳のある暮らしとは、どのようなものかを、理解することを目指している。

#### 内容

1. 生活とは 生活の定義、生活を理解する視点
2. 生活経営とは 生活経営の構成要素
3. 生活支援の基本的な考え方
4. 生活支援におけるICFの視点にもとづくアセスメント
5. 生活支援における介護予防
6. 生活環境の理解 自宅・施設・グループホーム等

#### 評価

出席・平常の学習態度(30%)、試験(70%)を総合的に評価する

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『生活支援技術』 中央法規出版

科目名	日常生活支援技術		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

日常生活支援技術とは、介護が必要な人々に対して、単に身体的な介護をするのではなく、自立に向けてトータルに生活を支援していくための技術である。この授業における学習のねらいは、障害者や高齢者など、日常生活を送る上で支援が必要な人々がどのような状態にあっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、適切な介護技術を用いて、安全に支援できる技術や知識を習得することにある。さらに、尊厳・プライバシーを保持しながら、実習に必要な様々な生活支援技術を科学的な理論とともに習得することを目指している。

#### 内容

1. 基本となる介護技術
2. アセスメントとは何か
3. 自立に向けた環境の整備
4. 自立に向けた移動の介護

#### 評価

出席・平常の学習態度 ( 30% )、ペーパーテスト・実技試験 ( 70% ) を総合的に評価する

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『生活支援技術』 中央法規出版

【参考図書】介護技術全書編集委員会 『わかりやすい介護技術演習』 ミネルヴァ書房

壬生尚美 佐分行子 『事例で学ぶ生活支援技術習得 新カリ対応』 日総研

科目名	日常生活支援技術		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

日常生活支援技術とは、介護が必要な人々に対して、単に身体的な介護をするのではなく、自立に向けてトータルに生活を支援していくための技術である。この授業における学習のねらいは、障害者や高齢者など、日常生活を送る上で支援が必要な人々がどのような状態にあっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、適切な介護技術を用いて、安全に支援できる技術や知識を習得することにある。さらに、尊厳・プライバシーを保持しながら、実習に必要な様々な生活支援技術を科学的な理論とともに習得することを目指している。

#### 内容

講義による生活支援技術の理論を学びながら、実技演習を中心に行う。

1. 自立に向けた身じたくの介護
  - 身じたくにおける介護技術
  - 身じたくの介護における他職種の役割と協働
2. 自立に向けた食事の介護
  - 食事における介護技術
  - 口腔の清潔の介護
  - 食事の介護における他職種の役割と協働

#### 評価

出席・平常の学習態度 ( 30% )、ペーパーテスト・実技試験 ( 70% ) を総合的に評価する

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『生活支援技術 』 中央法規出版

【参考図書】介護技術全書編集委員会 『わかりやすい介護技術演習』 ミネルヴァ書房

壬生尚美 佐分子 『事例で学ぶ生活支援技術習得 新カリ対応』 日総研

科目名	日常生活支援技術		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

日常生活支援技術とは、介護が必要な人々に対して、単に身体的な介護をするのではなく、自立に向けてトータルに生活を支援していくための技術である。この授業における学習のねらいは、障害者や高齢者など、日常生活を送る上で支援が必要な人々がどのような状態にあっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、適切な介護技術を用いて、安全に支援できる技術や知識を習得することにある。さらに、尊厳・プライバシーを保持しながら、実習に必要な様々な生活支援技術を科学的な理論とともに習得することを目指している。

#### 内容

特に尊厳の保持・プライバシーへの配慮が必要な支援について、その知識と技術を学ぶ。

1. 自立に向けた入浴・清潔保持の介護
  - 入浴・清潔保持における介護技術
  - 入浴・清潔保持の介護における他職種の役割と協働
2. 自立に向けた排泄の介護
  - 排泄における介護技術
  - 排泄の介護における他職種の役割と協働
3. 自立に向けた睡眠の介護
  - 睡眠における介護技術
  - 睡眠の介護における他職種の役割と協働

#### 評価

出席・平常の学習態度 ( 30% )、ペーパーテスト・実技試験 ( 70% ) を総合的に評価する

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『生活支援技術』 中央法規出版

【参考図書】介護技術全書編集委員会 『わかりやすい介護技術演習』 ミネルヴァ書房

壬生尚美 佐分子 『事例で学ぶ生活支援技術習得 新カリ対応』 日総研

科目名	介護過程基礎		
担当教員名	関根 良子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

専門職として介護を実践するには、その実践の根拠を明確にしなければなりません。その方法を学ぶのが科目「介護過程」です。

「介護過程基礎」では、なぜ、どのように「介護過程」を学ぶのかを、学生の皆さんと一緒に考え、納得していくような科目にしたいと思っています。そこで、私たちが日常生活の中で何気なく行っている「問題解決思考」の方法を振り返ります。そして、介護の仕事の魅力を感じることをめざします。

#### 内容

- 1・・・「介護過程」を学ぶにあたって  
- いのちを感じる
- 2・・・「介護」が専門職であるために
- 3・・・いつもしている「問題解決思考」- アルバイト編
- 4・・・情報ってなんだろう
- 5・・・観察するー関根編
- 6・・・観察するー「足」編
- 7・・・いつもしている「問題解決思考」- 再試験編
- 8・・・いつもしている「問題解決思考」- 再試験編
- 9・・・「くらし」ってなんだろう
- 10・・・調べてみよう
- 11・・・調べてみよう
- 12・・・聞いてみよう
- 13・・・発表しよう
- 14・・・発表しよう
- 15・・・まとめ

#### 評価

授業への参加を重視します。

授業中のレポート、グループワークの発表、個人レポートの提出

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 介護福祉教育研究会「楽しく学ぶ介護家庭」久美出版

推薦書 黒沢貞夫編「ICFを取り入れた介護過程」建帛社  
Dフレイジャー著「あなたがうまれたひ」福音館



科目名	介護総合演習		
担当教員名	新井 幸恵、中村 幸子、野島 靖子、丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 講義、演習、他科目で学んだ知識・技術、又はボランティア体験等を総合的に生かし、高齢者施設・障害者施設等で行われる介護を体験する。
2. 介護技術を通じて利用者との人間的なふれあいを深め、利用者の求める介護需要への理解、判断力を養う。
3. 日常生活援助に関する介護技術能力を深めると同時に、利用者の安寧や自立支援を援けるための住宅設備・機器や福祉用具の知識と活用能力を養う。
4. 実習指導者の指導を受け介護技術の習得、1日の介護計画立案、介護記録方法やカンファレンスの参加の仕方をまなぶ。
5. 実習中の困難や疑問に対し実習指導者や学生、教員らの力を活用し適切に対応する手立てを学び、これらを通して介護福祉士としての自己学習を深める方法を体験する。

内容

施設・在宅介護実習による。

評価

施設評価 50% 学習態度・記録評価 50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

吉田節子他編「ワークで学ぶ介護実習」みらい

科目名	発達と老化		
担当教員名	高木 俊治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

[講義の目的・ねらい]

ヒトはそのライフステージに応じて、生きる形がさまざまに変化する。ヒトの生涯を時間の軸でとらえ、能力の獲得とそ  
の変化を、発達と老化の視点から整理して理解する。

[講義全体の

講義中心

[講義修了時の達成課題 (達成目標) ]

ヒトの成長・発達から老化をとらえ、ライフステージごとの課題を理解できる。

内容

[講義の日程と各回のテーマ・内容]

1. 「生きている」とはということか・・・生物としてのヒトの特徴
2. ヒトの成長と発達・・・発達の定義・発達段階・発達課題とその障害
3. 成長・発達と老化
4. 老化にともなう心身機能の変化 (1)
5. 老化にともなう心身機能の変化 (2)
6. 老年期の発達と成熟
7. 老年期の発達課題 人格と尊厳、老いの価値、喪失体験、不安、セクシュアリティ
8. 老年期の発達課題 認知症
9. 高齢者医療の現状・・・医療の選択と主体性
10. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 (1)
11. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 (2)
12. 高齢者と健康 高齢者の疾病と生活上の留意点 (3)
13. 「老い」と「死」の理解
14. 保健医療職の課題
15. 試験

評価

[単位認定の方法および基準]

試験60点 レポート20点 平常点20点

60点以上合格

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

未定

科目名	発達と老化		
担当教員名	遠藤 忠		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 生涯発達の観点から,人間の発達過程をさまざまな理論,エビデンスを通して理解すること。
2. 特に老年期の心身の機能変化と日常生活への影響について理解すること。

内容

1	人間の発達の基礎的理解1:発達の考え方とその理解
2	人間の発達の基礎的理解2:生涯発達にもとづいた理論1(発達段階,発達課題)
3	人間の発達の基礎的理解2:生涯発達にもとづいた理論2(発達段階,発達課題)
4	老年期の発達1:老年期の定義
5	老年期の発達2:老年期の発達課題
6	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活1:認知機能の変化(知覚・感覚)
7	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活2:認知機能の変化(記憶)
8	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活3:認知機能の変化(精神運動機能)
9	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活4:知的機能の変化(知能1)
10	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活5:知的機能の変化(知能2)
11	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活6:老年期のパーソナリティ1
12	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活7:老年期のパーソナリティ2
13	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活8:老年期の人間関係1
14	老化に伴うこころとからだの変化と日常生活9:老年期の人間関係2
15	試験

評価

出席30点、ペーパーテスト60点及びレポート10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	社会福祉援助技術		
担当教員名	丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1. 社会福祉援助技術の意味、方法及び内容について理解する。
2. 他の専門職種とのチームワークの大切さとチームメンバーとしての自覚を高める。
3. 居宅サービス計画及び施設サービス計画の意義及び概要について理解する。

## 内容

1. 介護福祉士と社会福祉援助技術
  - 1) 社会福祉援助技術の意味と方法
  - 2) 社会福祉援助技術と介護福祉の関係
  - 3) 社会福祉援助技術の統合化の動向
2. 個別援助技術の理解
  - 1) 個別援助技術の意義と機能、構成要素
  - 2) 個別援助技術の原則と展開過程
  - 3) 個別援助技術の手段
  - 4) 個別援助技術と隣接技術領域
3. 集団援助技術の理解
  - 1) 集団援助技術の意義と機能
  - 2) 集団援助技術の援助展開過程
4. 地域援助技術の理解
  - 1) 地域援助技術の意義と機能
  - 2) 地域援助技術の基本的性格
  - 3) 地域援助技術の具体的実践事例
  - 4) 地域援助技術従事者と介護福祉士の連携
5. 居宅介護支援の理解
6. チームワーク
  - 1) 専門関連職種との連携、チームワーク
  - 2) 家族介護者への支援

## 評価

試験による評価 ( 前期試験60点 )      レポートによる評価 ( 20点 )  
 出席・平常評価 ( 20点 )

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】坂本道子他編 『社会福祉援助技術』 建帛社  
 ソーシャルワーク演習教材開発研究会編 『ソーシャルワーク演習ワークブック』 みらい
- 【参考書】北川清一 『ソーシャルワーク実践と面接技法』  
 川瀬正裕他編 『新自分さがしの心理学』 ナカニシヤ出版

科目名	社会福祉援助技術演習		
担当教員名	丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1. 個別及び集団援助技術については、習得した社会福祉援助技術の理論、技術を演習し、応用能力を向上させる。
2. 演習を通じて、居宅サービス計画及び施設サービス計画の実際を学ぶ。

## 内容

1. 自己理解と利用者理解のための演習
  - 自己理解
  - 他者理解
  - ソーシャルワークの価値と倫理
2. 具体的な事例や援助場面を想定した実技指導 (ロールプレイング等)
  - 老人・障害者の介護福祉場面における個別援助技術活用の実際
  - 老人・障害者の介護福祉場面における集団援助技術活用の実際
3. 事例に基づき、居宅サービス計画及び施設サービス計画の実際を演習

## 評価

試験による評価 (後期試験60点) レポートによる評価 (20点)  
 演習による評価 (20点)

## 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に用いない

【推薦書】国光登志子『実践に役立つケアマネジメント実践ハンドブック』中央法規

津田耕一 『利用者支援の実践研究』久美

科目名	介護技術演習		
担当教員名	中村 幸子、新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

介護は身体や精神に障がいがあっても、その人らしい生活をできる限り尊重して自立できるように援助することである。そのため介護者には、利用者がどのような状態で、どの部分に障がいがあるのか、どのような方法で援助するのか、さらにその評価までのプロセスの展開ができることが求められる。従って授業では生活援助に必要な技術を身につけると同時に、介護の思考過程を学ぶことを重視しており、手順にとらわれるのではなく介護を受ける者の立場に立った援助ができることを目指している。

#### 内容

介護技術演習 で学んだ生活援助の技術を、さらに発展・応用した学習を行う。

#### (前期)

1. 介護に必要な介護者の態度とコミュニケーション技術 (傾聴・洞察・共感等)
2. 観察とアセスメントの技法 (体温・脈拍・呼吸・皮膚の状態などの観察法とアセスメント)
3. 環境整備 (安全で快適な住まい・生活環境の整備、ベッドメイキング等)
4. 移動・移乗における介護の原則とボディメカニクス (ベッド上の体位変換・車いす等への移譲)
5. 食事関連 (食の喜び、安全な体位、嚥下と消化の理解、食事介助法、嚥下障害時の介助技術)
6. 排泄 (各種排泄用具の知識と使用法、プライバシーへの配慮)
7. 衣生活支援 (快適な衣類と、安全な着脱法)
8. 清潔 (入浴・清拭・洗髪などを通して、清潔介助の技法)
9. 整容 (身だしなみの意義と個別性の尊重)
10. 福祉用具の理解と活用法 (自立支援、介護負担軽減の視点)
11. 介護者の健康管理 (日々の健康管理・感染予防・腰痛予防などの自己管理)
12. 事故や急変時の対応 (応急手当、リスクマネジメントの視点)
13. 個別対応 (事例研究 1)
14. 個別対応 (事例研究 2)
15. 技術 のまとめおよび試験

#### (後期)

介護過程の意義・目的

介護過程の展開方法の基礎知識

介護過程演習

(事例に基づき、情報収集、アセスメント、介護計画作成、実施、評価の流れの理解)

#### 評価

出席・授業への主体的参加状況(40%),筆記・ペーパーテスト・実技試験など(60%)総合的に評価する。(実習前には基本的技術の復習とテストを行う。実習後には3段階実習に向けて、介護過程演習のために事例の情報を整理しておく)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『介護技術 . . .』 中央法規

【参考図書】適宜紹介

科目名	介護技術演習		
担当教員名	中村 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

介護は身体や精神に障害があっても、その人らしい生活をできる限り尊重して自立できるように最小限の援助を行うことが基本である。その基礎的介護技術に加えて、慢性疾患を持ちながら生活している利用者の自己管理や、医療対応の基礎知識および緊急時対応からターミナル期の介護にいたるまでの、必要な知識技術をもち、必要な援助ができることを目指している。

#### 内容

介護技術演習 ・ で学んだ生活援助の技術をさらに発展させ、自立を目指す応用介護技術を学ぶ。

1. 在宅における介護援助法の理解と対応 1 (日常生活動作と住環境)
2. 在宅における介護援助法の理解と対応 2 (生活支援技術)
3. 在宅における介護援助法の理解と対応 3 (外出など移動支援)
4. 医療依存度の高い利用者への介護援助法 1 (薬の基礎知識)
5. 医療依存度の高い利用者への介護援助法 2 (治療食の知識)
6. 医療依存度の高い利用者への介護援助法 3 (身体不調時の対応)
7. 緊急時の対応 1 (応急手当、事故とその対応)
8. 緊急時の対応 2 (心肺蘇生の知識と実践)
9. 保健医療との連携 (事例に即した対応法の研究 1)
10. 保健医療との連携 (事例に即した対応法の研究 2)
11. 終末期の介護 1 (終末期のもつ意味)
12. 終末期の介護 2 (終末期と尊厳)
13. 終末期の介護 3 (終末期のアセスメント)
14. 終末期の介護 4 (終末期介護の援助法)
15. まとめおよび試験

#### 評価

出席状況・学習状況・レポート提出状況 (40%)、ペーパーテスト (60%) により総合的に評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】介護福祉士養成講座編集委員会 『介護技術 . . .』 中央法規

【参考図書】適宜紹介



科目名	形態別介護技術演習		
担当教員名	中村 幸子、新井 幸恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 老人、障がい者の特性や生活条件に対応した介護の知識・技術を習得する。
2. 老人、障がい者の自己決定や備わっている力を尊重した介護を学ぶ。
3. 各種福祉用具の活用とその実際について理解を深める。

## 内容

### 前期

1. 老人、障害者の行動様式に対応する介護のあり方
2. 家族形態別にみた生活障害と介護
3. 寝たきり老人の介護
4. 認知症高齢者の介護

### 後期

1. 肢体不自由者の介護
2. 内部障害者の介護
3. 残存機能と福祉用具
4. 難病と関連医学領域の基礎知識
5. 保健医療福祉関係者との連携

## 評価

出席状況・学習状況・レポート提出状況(40%)、ペーパーテスト(60%)により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】介護福祉士養成講座『形態別介護技術』 中央法規

【推薦書】適宜紹介します

科目名	形態別介護技術演習		
担当教員名	新井 幸恵、谷 千春、中村 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.精神障害・知的障害の医学的基礎知識を学び、生活困難および必要な介護方法について体系的に理解 する。
- 2.障害をもつ人々の在宅介護と関連施策について理解する。
- 3.聴覚・言語障害に関する医学的基礎知識を理解し、心理・生活に配慮した、介護のあり方と自立支援 について考える。残存感覚機能を理解し、福祉機器の活用とコミュニケーション方法を習得する。

## 内容

### 前期

1. 自立支援法、精神保健福祉法、介護保険法にみる精神障害者・知的障害者の「介護」分野
2. 精神障害者・知的障害者の暮らしを支える日常生活支援をめぐる援助技術と関係機関との連携
3. ケアマネジメントに基づく、障害をもつ人々の在宅介護事例の検討

### 後期

1. 聴覚・言語障害と関連医学領域の基礎知識と、障害に起因する生活の困難性について
2. 残存感覚機能の特性と活用、および福祉機器について理解と、介護上の対応について
3. 聴覚・言語障害と社会生活の可能性について
4. コミュニケーション介護(筆談、読話、補聴器等福祉用具の取り扱い、手話の基礎単  
の表現と指文字の習得)について

語・数字

## 評価

出席 30% レポート 20% 試験 50%

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】前期 介護福祉士養成講座「14 形態別介護技術」

### 後期

谷千春著 『コンパクト手話辞典』 池田書店発行

介護福祉士養成講座『形態別介護技術』 中央法規

## 【参考図書】

野末浩之「こころ・からだ・暮らし」精神障害者の地域生活支援 萌文社

科目名	形態別介護技術演習		
担当教員名	新井 幸恵、当山 啓		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1 視覚障がい者の介護に関する医学的知識・技術、支援上の連携について学ぶ
- 2 とりわけコミュニケーション手段である、点字に関する初歩的な知識を学ぶ
- 3 福祉用具の基礎知識を得る
- 4 視覚障がい者の日常生活に関する支援のあり方を学ぶ

#### 内容

- 1 点字の読み方、書き方を学び基礎的な練習問題を通じてコミュニケーションの実際を知る
- 2 様々な福祉用具を駆使した移動・歩行介護・日常生活支援の実際を学ぶ
- 3 視覚障がいの医学的・心理学的理解を深める
- 4 地域や施設における視覚障がい者の介護を学ぶ

#### 評価

出席 30% レポート 20% 試験 50%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】「点訳のしおり」日本点字図書館編
- 【推薦書】 「点字点訳基本入門」日本点字図書館  
「日本点字表記法」大活字  
「視覚障害者が街を歩くとき」都市文化社

科目名	介護実習		
担当教員名	新井 幸恵、中村 幸子、野島 靖子、丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.講義、演習、他科目で学んだ知識や技術、1段階介護実習の学びを総合的に生かし、高齢者や障害者 施設で行われる介護を体験する。
- 2.実習指導者の指導を受けながら介護計画・情報収集の視点と方法を学ぶ。
- 3.介護職と多職種との連携をまなび、包括的な支援を体験する。

#### 内容

入所施設実習 第2段階 4週間

事前見学オリエンテーションの実施とその振り返りを行う

実習指導者の助言を元に日々の介護実習計画を立て、実施、記録、評価を得る

指導者の助言を得て受持ち利用者を選定、アセスメントをおこない、記録、評価を得る

教員の巡回時に実習課題や介護過程の実施状況を報告し助言を得る

カンファレンス・反省会にて、課題の進行状況を報告、検討、記録する

#### 評価

実習態度・記録評価 50% 施設評価 50%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

吉田節子他編「ワークで学ぶ介護実習」みらい

科目名	介護実習		
担当教員名	新井 幸恵、中村 幸子、野島 靖子、丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.講義、演習、他科目で学んだ知識や技術、 ・ 期介護実習の学びを総合的に生かして、 高齢者や障害者施設で行われる介護を体験し、利用者や地域社会の求める介護援助技術を学ぶ。
- 2.利用者の視点に立った介護過程の方法とその実際を学ぶ。
- 3.地域社会で暮らす利用者の個別性の高い介護援助技術を学ぶ。

内容

在宅実習3日間

施設実習4週間

評価

実習態度・記録評価 5 0 % 施設評価 5 0 %

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

吉田節子他編「ワークで学ぶ介護実習」みらい

科目名	介護実習指導		
担当教員名	新井 幸恵、中村 幸子、野島 靖子、丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 第1段階介護実習での学びを生かし、第2段階実習の意義を理解する。
2. 介護実習を通じて、これまで学んできた知識、技術、態度を具体的、かつ実践的に理解する。
3. 前・中・後に及ぶ実習の諸過程を振り返り、介護福祉士に期待される社会的役割、自己覚知を深める。
4. 施設機能の理解・利用者理解を深め、介護過程を実施する中で介護福祉士のあり方、その社会的役割を学ぶ。

#### 内容

##### 1. 実習前

自己または施設ごとの実習課題を明確化する。

実習前報告会を主体的に企画、とり行う。

##### 2. 実習中

巡回指導や帰校日での指導を受ける。

##### 3. 実習後

全実習過程を考察、介護福祉士としての自己覚知を深め 段階次期実習へ向け自己課題を明らかにする。

施設評価を受け、自己評価を行う。

実習報告会を主体的に企画、とり行う。

実習報告書を作成する。

#### 評価

出席50%、提出記録50%、

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】吉田節子他編「ワークで学ぶ介護実習」みらい

【推薦書】 「認知症介護の基本 」中央法規

「摂食・嚥下を滑らかに」中央法規

「介護者が知っておきたい薬のはたらき」 中央法規

科目名	介護実習指導		
担当教員名	新井 幸恵、中村 幸子、野島 靖子、丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 第 段階介護実習での学びを生かし、第 段階実習の意義を理解する。
2. 介護実習を通じて、これまで学んできた知識、技術、態度を具体的、かつ実践的に理解する。
3. 前・中・後に及ぶ実習の諸過程を振り返り、介護福祉士に期待される社会的役割、自己覚知を 深める
4. 施設機能の理解・利用者理解を深め、介護過程を実施する中で介護福祉士のあり方、その社会的役割を学ぶ。変則時間実習・夜勤実習を通じて施設業務全体を理解する。
5. 在宅実習をおこない、介護福祉士の地域的、社会的な役割を理解する。

#### 内容

##### 1. 実習前

自己または施設ごとの実習課題を明確化する。  
実習前報告会を主体的に企画、とり行う。

##### 2. 実習中

巡回指導や帰校日での指導を受ける。

##### 3. 実習後

全実習過程を考察、介護福祉士としての自己覚知を深め、次期実習へ向け自己課題を明らかにする。  
施設評価を受け、自己評価を行う。  
実習報告会(施設実習・在宅実習)を主体的に企画、とり行う。  
実習報告書を作成する。

#### 評価

出席50%、提出記録50%、

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】吉田節子他編「ワークで学ぶ介護実習」みらい

【推薦書】 「すぐに役立つ事例のまとめ方と発表のポイント」中央法規  
「対人援助のためのコーチング」中央法規  
「介護福祉士初任者のための実践ガイドブック」中央法規

科目名	家庭支援演習		
担当教員名	伊藤 わらび		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

高齢社会において、今後、一層ニーズが高まることが予想される訪問介護員についての高度な専門性を習得することを目指す。

本科目は、訪問介護員2級研修修了者に対する単位認定科目である。

## 内容

訪問介護員2級研修の授業内容は次の通りである(130時間以上)。

講義：「福祉理念とケアサービスの意義」「高齢者保健福祉の制度とサービス」「ホームヘルプサービスの概念と現状」「障害・疾病の理解」「住宅・福祉用具に関する知識」[家事援助の方法]など、19科目

演習：「基本介護技術1～8」「共感的理解と基本的態度の形成」「訪問介護計画の作成と記録」など、11科目

実習：「特別養護老人ホーム」「老人デイサービスセンター」「ホームヘルプサービス同行訪問」の3箇所

## 評価

「訪問介護員2級資格取得養成研修講座」の修了証書と所定の申請による単位認定を行う。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は、講座開始時に紹介する。



科目名	医学一般		
担当教員名	高木 俊治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	社会福祉士受験資格 / 介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

[講義の目的・ねらい]

介護福祉の分野で必要な医学領域のうち、公衆衛生を含む社会医学面を理解する。

[講義全体の内容の概要]

講義中心

[講義修了時の達成課題 (到達目標)]

日本の介護医療・福祉の現状と問題点を整理して理解できること。

内容

[講義日程と各回のテーマ・内容]

1. 「生きている」ことの意味・医学・生物学の基礎知識
2. 人口静態と人口動態
3. 地域保健対策と健康増進対策 (1)
4. 地域保健対策と健康増進対策 (2)
5. 障害とリハビリテーション医療 (1)
6. 障害とリハビリテーション医療 (2)
7. 感染症の理解
8. 難病の理解
9. 精神保健医療の理解
10. 在宅医療と自己決定 (1)
11. 在宅医療と自己決定 (2)
12. 医療システムの現状 (1)
13. 医療システムの現状 (2)
14. 医事法制
15. 試験

評価

[単位認定の方法および基準]

試験60点 レポート20点 平常点20点

60点以上合格

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[使用テキスト]

介護福祉士養成講座 9巻 (医学一般) 中央法規

科目名	レクリエーション活動援助法		
担当教員名	杉浦 史晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

介護サービスの究極の目的は、援助の対象となる人々がいきいきと生きがいを感じながら生きることができるように、生活全体を活性化することである。その中でレクリエーション援助(日常的な楽しさづくり)の果たす役割は大きい。この授業では、これからの社会福祉サービスにおけるレクリエーションの意味と価値を明らかにするとともに、レクリエーション活動援助の基本的な方法と援助者の果たすべき役割について体験学習を織り交ぜながら追求する。

#### 内容

- (1) 出会い、よりよく知り合うために：人と人との出会いの喜びを体験し、コミュニケーションを深めるレクリエーション・プログラムの実際を体験する。
  - (2) レクリエーションとは何か：レクリエーションのイメージの点検から始めて、レクリエーションという概念がなぜ生まれてきたか、現代社会でのレクリエーションの持つ積極的な意義を検討する。
  - (3) レクリエーションと社会福祉：社会福祉サービス、利用者と援助者のあり方を考え、その中でレクリエーションの援助が果たすべき役割、援助者が身につけるべきコミュニケーション技術や人間関係能力を検討する。
  - (4) レクリエーション援助の計画づくり：レクリエーション援助は利用者のニーズを捉えるところから始まり、アセスメント-企画-実施-評価のプロセスを踏んで行われることが望まれる。その進め方を介護計画とのつながりや具体的な事例に即して検討する。
  - (5) 福祉現場のレクリエーションの現状と課題を考える。
  - (6) ケーススタディ：様々な施設、および障害形態別にレクリエーションの事例を取り上げ、それが持つ可能性、援助を行う上での問題点、利用者にふさわしいレクリエーションの素材研究を行う。
- 以上について、理論と実践を組み合わせながら進めていく。

#### 評価

筆記・実技試験(40点)、毎時間ごとのふりかえり(30点)、授業態度(30点)を評価し、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 藺田碩哉監修 『レクリエーションの援助』 共栄出版株式会社

【推薦書】 『第3版 レクリエーション活動援助法』 中央法規

科目名	家政学概論		
担当教員名	井上 久美子、高間 譲治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 食生活について基本的な知識を学ぶとともに、高齢者・障害者の食生活についてとらえていく。
2. 住生活の意義を理解するとともに、管理する能力を養う。

## 内容

< 食生活・栄養と調理分野 >

1. 身体の機能と栄養(栄養素の働き、消化と吸収、食事摂取基準)
2. 食生活と健康(食生活の現状、生活習慣病と食生活)
3. 食品の成分と保存・管理、安全性
4. 調理の理論
5. 高齢者、障害者の食生活
6. 日常食の献立

< 住生活分野 >

1. 住居の役割と機能
2. 生活行動と生活空間
3. 快適な室内環境(温度、湿度、採光、換気等)
4. 住居の管理と安全(住居の維持管理・衛生管理、事故防止等)
5. 高齢者・障害者(児)と住居(自立した生活・建築工学からの視点・地域と住環境)

## 評価

食生活・栄養と調理分野 (評価の方法: ペーパーテスト、ミニテストで70点、出席30点)

住生活分野(評価の方法: ペーパーテスト、出席状況、レポートの総合評価とする)

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 食分野 酒井豊子(家政学概論)最新介護福祉全書10 メジカルフレンド社、  
プリント

【参考図書】『家政学概論』(介護福祉士養成校座8) 中央法規出版

科目名	家政学実習		
担当教員名	井上 久美子、高間 譲治、山口 典子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

家庭経営、衣、食、住に関する様々な技能を、実習を通して習得し、かつ、老人や障害者の家庭生活支援能力を養う。

## 内容

(前期)	(後期)
〔家庭生活分野〕	〔栄養・調理分野〕
1.家庭生活の経営と管理	1.調理の基本、調理室の使い方 高齢者の日常の食事(和、洋、中華)
2.家事作業の計画・介護作業計画作成	(1-6)
3.高齢者の消費者被害の問題点と対策	2.介護食
〔被服分野〕	〔住生活分野〕
1.被服素材の特徴と鑑別の実験	1.室内環境の整備
2.被服管理実習	2.清掃用具、用材の使用方法和清掃技術
3.被服基礎実習	3.住居管理・防災対策
4.応用作品の製作	4.高齢者・障害者に適した居宅改善案の作成
	5.高齢者・障害者に適した自助具の考案

## 評価

被服・住生活分野 (評価方法: 出席状況、レポート、実習態度の総合評価)

栄養・調理分野 (評価方法: 出席70点、実習態度30点)

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】〔栄養・調理分野〕プリント  
〔住生活分野〕プリント、授業の中で適時紹介する。

【参考図書】栄養・調理分野: 村山篤子、鎌田浩子編者 『新版家政学実習』介護福祉書11 建帛社  
島田淳子編「栄養・調理」最新介護福祉全書11 メヂカルフレンド社

科目名	基礎演習		
担当教員名	佐藤 陽		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学では自ら学習し、自ら求める自立的・自発的な学習が必要である。本授業では、大学における学生生活の基礎となる基本的な学習の仕方について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションを密にとれることも特徴である。

#### 内容

##### 1.学生としてのライフスタイルの確立、学習の目標を獲得する

大学、学部、学科、コースを理解する。大学組織の活用法を理解する。自分の個性・特徴を知る。自己確立に向けて目標を立てる。学習・生活の計画を立てる。

##### 2.情報の収集、整理、理解

ノート・テイキング、文書読解の練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用について学ぶ。

##### 3.情報の検討、分析、発信

アイデアの出し合いと練り上げ、討論・論議の練習、レポートの作成。

##### 4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶものとしての自覚と他者理解を深めるとともに、目的意識を明確にする。

#### 評価

授業への出席と取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書：学習技術研究会編『知へのステップ』くろしお出版

田中共子『よくわかる学びの技法』ミネルヴァ書房

科目名	基礎演習		
担当教員名	野島 靖子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学では自ら学習し、自ら求める自立的・自発的な学習が必要である。本授業では、大学における学生生活の基礎となる基本的な学習の仕方について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションを密にとれることも特徴である。

#### 内容

##### 1.学生としてのライフスタイルの確立、学習の目標を獲得する

大学、学部、学科、コースを理解する。大学組織の活用法を理解する。自分の個性・特徴を知る。自己確立に向けて目標を立てる。学習・生活の計画を立てる。

##### 2.情報の収集、整理、理解

ノート・テイキング、文書読解の練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用について学ぶ。

##### 3.情報の検討、分析、発信

アイデアの出し合いと練り上げ、討論・論議の練習、レポートの作成。

##### 4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶものとしての自覚と他者理解を深めるとともに、目的意識を明確にする。

#### 評価

授業への出席と取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書：学習技術研究会編『知へのステップ』くろしお出版

田中共子『よくわかる学びの技法』ミネルヴァ書房

科目名	基礎演習		
担当教員名	丸山 晃		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学では自ら学習し、自ら求める自立的・自発的な学習が必要である。本授業では、大学における学生生活の基礎となる基本的な学習の仕方について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションを密にとれることも特徴である。

#### 内容

##### 1.学生としてのライフスタイルの確立、学習の目標を獲得する

大学、学部、学科、コースを理解する。大学組織の活用法を理解する。自分の個性・特徴を知る。自己確立に向けて目標を立てる。学習・生活の計画を立てる。

##### 2.情報の収集、整理、理解

ノート・テイキング、文書読解の練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用について学ぶ。

##### 3.情報の検討、分析、発信

アイデアの出し合いと練り上げ、討論・論議の練習、レポートの作成。

##### 4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶものとしての自覚と他者理解を深めるとともに、目的意識を明確にする。

#### 評価

授業への出席と取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書：学習技術研究会編『知へのステップ』くろしお出版

田中共子『よくわかる学びの技法』ミネルヴァ書房

科目名	基礎演習		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-人間福祉学科専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学では自ら学習し、自ら求める自立的・自発的な学習が必要である。本授業では、大学における学生生活の基礎となる基本的な学習の仕方について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションを密にとれることも特徴である。

#### 内容

##### 1.学生としてのライフスタイルの確立、学習の目標を獲得する

大学、学部、学科、コースを理解する。大学組織の活用法を理解する。自分の個性・特徴を知る。自己確立に向けて目標を立てる。学習・生活の計画を立てる。

##### 2.情報の収集、整理、理解

ノート・テイキング、文書読解の練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用について学ぶ。

##### 3.情報の検討、分析、発信

アイデアの出し合いと練り上げ、討論・論議の練習、レポートの作成。

##### 4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶものとしての自覚と他者理解を深めるとともに、目的意識を明確にする。

#### 評価

授業への出席と取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、60点以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書：学習技術研究会編『知へのステップ』くろしお出版

田中共子『よくわかる学びの技法』ミネルヴァ書房